

2021 年 8 月分新聞書評



保身～積水ハウス、クーデターの深層～

藤岡 雅 著

KADOKAWA

2018 年、積水ハウスで地面師事件への責任を問われた社長が、事件の解明を進める会長を振り返りにした。なぜ役職が上の者ほど責任から逃げるのか。クーデターの内実を明かし、この国の漂流する企業倫理までも決る経済ルポ。

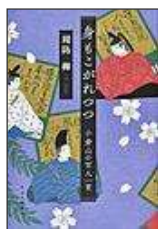
2021:5./ 365p

978-4-04-109756-4

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



身もこがれつつ～小倉山の百人一首～

周防 柳 著

中央公論新社

歌壇で頭角を現した藤原定家。朝廷権威を回復したい後鳥羽院は、将軍・源実朝への和歌の指南を定家に命ずるが…。史実をきらびやかに描きながら、「百人一首」の謎を解き明かす長篇。『BOC』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021:7./ 429p

978-4-12-005447-1

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



万事快調(オール・グリーンズ)

波木 銅 著

文藝春秋

茨城のどん詰まり、底辺工業高校には噂がある。表向きは園芸同好会だが、その実態は犯罪クラブ。メンバーは 3 人の女子高生。彼女たちが学校の屋上で育てるのは、植物は植物でも大麻だった！

2021:7./ 309p

978-4-16-391396-4

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



#駄言辞典～早く絶版になってほしい～

日経 xwoman 編

日経BP社

古いステレオタイプによって生まれたひどい発言を「駄言」と名付け、どんな発言が駄言なのか、その発言の何が問題なのかを明らかにする。キーパーソン 6 人への駄言についてのインタビュー、駄言との向き合い方も紹介。

2021:6./ 311p

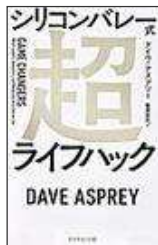
978-4-296-10947-0

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/08/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 9 月時点での税込み価格です。



シリコンバレー式超ライフハック

デイヴ・アスプリー 著

ダイヤモンド社

「記憶力」を最高に上げる方法、休みが増えて成果も上がる「時間術」、朝やるべき「5つの鉄則」、最も賢い「お金の管理法」…。人間活動の全パフォーマンスを最大化する、史上最強の技を伝授する。

2020:7./ 455p

978-4-478-10719-5

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



地図でたどる世界交易史〜ヴィジュアル版〜

フィリップ・パーカー 著

原書房

世界の文明をはぐくみ、新たな文化を生んだ「交易」。石器時代の不確かな物々交換から情報化時代における瞬時の取引まで、交易の世界史を、時代を表すフルカラーの地図とともにわかりやすく紹介する。

2021:7./ 275p

978-4-562-05847-1

本体 ¥4,180〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



あんたはエライ!

小松政夫 著

さくら舎

「しらけ鳥音頭」「小松の親分さん」など数々の芸をヒットさせ、日本を笑わせ続けたコメディアン小松政夫。そのエネルギーに笑い倒され、ホロリの連続!『月刊はかた』の12年間、152回の連載からのベストセレクション。

2021:6./ 227p

978-4-86581-299-2

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/08/01



高地文明〜「もう一つの四大文明」の発見〜(中公新書 2647)

山本 紀夫 著

中央公論新社

アンデス、メキシコ、チベット、エチオピアの熱帯高地に生まれ、発展してきた4つの古代文明を紹介。精巧な建築物から、環境に根ざした独特な栽培技術や家畜飼育の方法、特色ある宗教まで、知られざる文明の全貌を解き明かす。

2021:6./ 4p,323p

978-4-12-102647-7

本体 ¥1,155〔税込〕



産経新聞 2021/08/01、日本経済新聞 2021/08/14



零の晩夏

岩井 俊二 著

文藝春秋

モデルが例外なく死に至るという“死神”の異名を持つ謎の絵師ナユタ。その作品の裏側にある禁断の世界とは。岩井俊二が生と死の輪郭線を描く。書き下ろし絵画ミステリー。

2021:6./ 383p

978-4-16-391388-9

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/01、日本経済新聞 2021/08/21



大和和紀〜総特集〜(KAWADE ムック)

大和 和紀 著

河出書房新社

1966年のデビュー以来、少女マンガ史に残る名作を数多く描いてきた大和和紀が自らのマンガ人生を語る。青池保子・山岸涼子との鼎談、萩尾望都らの寄稿、「ハイカラさんが通る」連載扉絵、厳選50作品解説、年譜等も収録。

2021:7./ 279p

978-4-309-98032-4

本体 ¥1,782〔税込〕



産経新聞 2021/08/07



「太平洋の巨鷲」山本五十六～用兵思想からみた真価～(角川新書 K-365)

大木 毅 著

KADOKAWA

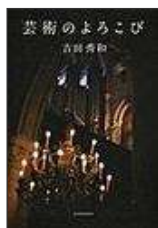
名将か、凡将か? 太平洋戦争に反対しながら、連合艦隊を指揮したことで「悲劇の提督」となった山本五十六。戦略・作戦・戦術の三次元における指揮能力と統率の面から山本五十六を解剖し、神話と俗説を解体する。

産経新聞 2021/08/08

2021/7./ 331p

978-4-04-082382-9

本体 ¥1,012〔税込〕



芸術のよろこび

吉田 秀和 著

河出書房新社

日本と西洋、文化の新旧、ロマンティズム、現代の芸術、オペラ、創造の秘密…。福田恆存、大岡昇平、浅利慶太、茂木健一郎らとの対話を通して、吉田秀和の芸術観に迫る。『知性』『レコード芸術』ほか掲載を書籍化。

産経新聞 2021/08/08

2021/3./ 269p

978-4-309-29136-9

本体 ¥2,695〔税込〕



猫が30歳まで生きる日～治せなかった病気に打ち克つタンパク質「AIM」の発見～

宮崎 徹 著

時事通信出版局

猫の宿命的な病気、腎臓病の原因が解明され、血液中のタンパク質「AIM」で治療が可能となった。それはアルツハイマー型認知症や自己免疫疾患など、人間の病気への活用も期待でき…。最新医療研究のリアルを紹介する。

産経新聞 2021/08/08

2021/8./ 242p

978-4-7887-1755-8

本体 ¥1,980〔税込〕



マートくんのレストラン(すずのねえほん)

たざわ たえこ 著

銀の鈴社

すてきなパン屋さんに行ったマートくん。きれいなお姉さんに「好きなだけパンを食べ歩いてね」と言われ、パンに手を伸ばした途端、お姉さんがおそろしい魔女に姿を変えて…。

産経新聞 2021/08/08

2021/7./ 24p

978-4-86618-117-2

本体 ¥1,980〔税込〕



台湾有事 どうする日本～2027年までに中国の台湾侵奪はあるか～

東アジア情勢研究会 編

江口克彦 著

方丈社

「台湾有事」の際、日本は具体的にどうするのか。運命共同体の台湾を見殺しにするのか。価値観を同じくする台湾を捨て置くのか。台湾・李登輝元総統の遺志を継ぐ日台の安全保障論客が、日本のとるべき対応策を提案する。

産経新聞 2021/08/08

2021/7./ 235p

978-4-908925-81-8

本体 ¥1,760〔税込〕



九十歳のラブレター

加藤 秀俊 著

新潮社

突然逝ってしまった、小学校の同級生でもあった妻。戦争、めぐりあい、マイホーム創世記、ペット遍歴、米寿の自動車事故、ぼくたちのお墓…。老社会学者が愛惜深く辿る<ある夫婦の心の旅路>。

産経新聞 2021/08/08、読売新聞 2021/08/15

2021/6./ 204p

978-4-10-354151-6

本体 ¥1,650〔税込〕





彼岸花が咲く島

李 琴峰 著
文藝春秋

記憶を失くした少女・宇実が流れ着いたのは、ノロと呼ばれる指導者が統治し、男女が違う言葉を学ぶ島だった。宇実の島の少女・游娜と少年・拓慈と、この島の深い歴史に導かれていき。『文学界』掲載を単行本化。

2021:6./ 188p
978-4-16-391390-2
本体 ¥1,925〔税込〕



産経新聞 2021/08/08、読売新聞 2021/08/15



殺した夫が帰ってきました(小学館文庫 さ 40-1)

桜井 美奈／桜井 美奈 著
小学館

アパレルメーカーに勤務する茉菜は、取引先の穂高にしつこく言い寄られ悩んでいた。ある日、穂高が茉菜の家の前で待ち伏せし、家の中に入ってこようとした時、茉菜の夫を名乗る男が現れ穂高を追い返す。だが、その男とは…。

2021:4./ 288p
978-4-09-407008-8
本体 ¥748〔税込〕



産経新聞 2021/08/14



カッコーの巣の上で

ケン・キージー、岩元 巖 著
パンローリング

刑務所の農場労働を逃れるため精神異常を装い、患者として精神病院にやってきたマックマーフィ。そこでは婦長が厳格な規則と薬物投与で患者の人間性を奪い管理支配していて…。体制に抵抗する者たちの鮮烈な冒険譚。

2021:7./ 497p
978-4-7759-4252-9
本体 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2021/08/14



村上 T～僕の愛した T シャツたち～(POPEYE BOOKS)

村上春樹 著
マガジンハウス

ロック T、マラソン完走 T シャツ、ビール関係、ノヴェルティー…。村上春樹の膨大なコレクションから、お気に入り T シャツ 108 枚と T シャツをめぐる 18 篇のエピソードを収録したエッセイ集。『ポパイ』連載に加筆し書籍化。

2020:6./ 189p
978-4-8387-3107-7
本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/14



オランダ絵画にみる解剖学～阿蘭陀外科医の源流をたどる～

フランク イペマ／トーマス ファン ヒューリック 著
東京大学出版会

解剖を指導した人物は誰か、解剖に供された罪人はどのような罪を犯したのか。17、18 世紀を通じて描かれ続けた、アムステルダムの実習教育としての解剖学講義をテーマとした集団肖像画にまつわる謎に迫る。

2021:1./ 4p,274p
978-4-13-086061-1
本体 ¥6,380〔税込〕



産経新聞 2021/08/15



東京商店夫婦

阿部直美 著
交通新聞社

夫婦が商いを共にし、いつしかそれが街の日常風景になっていく。ともに仕事をしているフリーライターの夫婦が、「夫婦で同じ仕事をしている人たち」に注目し取材。東京で商売を営む 40 組の夫婦へのインタビューを収録する。

2021:6./ 191p
978-4-330-03021-0
本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/15



「こころの旅」を歌いながら～音楽と深層心理学のめぐりあい～

きたやま おさむ／富澤 一誠 著

言視舎

「戦争を知らない子供たち」の女々しさ? なぜ「旅の歌」が作られたのか? 作詞家・深層心理学者きたやまおさむと音楽評論家・富澤一誠が、きたやま作品の再検討や「旅の歌」の考察を通じて、社会・文化の深層を読む。

2021:6./ 236p

978-4-86565-203-1

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/08/15



なぜ連合国が勝ったのか?

リチャード・オウヴァリー 著

楽工社

なぜ連合国は第二次世界大戦に勝利したのか。負ける可能性はなかったのか。連合国の勝因(日独伊の敗因)を総合的に検証し、物量以外にも勝つべくして勝った要因があったことを証明した第二次世界大戦分析の古典的研究。

2021:7./ 641p

978-4-903063-89-8

本体 ¥4,345〔税込〕



産経新聞 2021/08/15



潜入・ゴミ屋敷～孤立社会が生む新しい病～(中公新書ラクレ 733)

笹井 恵里子 著

中央公論新社

整理清掃業者として働いた著者が、ゴミの中で亡くなった人の壮絶現場や、ゴミ屋敷の住人と作業員がともに片付けていく様子をレポート。ゴミ屋敷に陥る背景の病やその治療なども綴る。『プレジデントオンライン』連載を書籍化。

2021:7./ 206p

978-4-12-150733-4

本体 ¥902〔税込〕



産経新聞 2021/08/22



白光

朝井 まかて 著

文藝春秋

明治5年、絵師になるため故郷の笠間(茨城)を飛び出した山下りん。己に西洋画の素質があることを知り、工部美術学校に入学を果たし…。日本人初のイコン画家・山下りんの波瀾の生涯を力強く描く。『オール讀物』掲載に加筆。

2021:7./ 498p

978-4-16-391402-2

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/22



希望の歴史～人類が善き未来をつくるための 18 章～<上>

ルトガー・ブレグマン 著

文藝春秋

近現代の社会思想は“性悪説”で動き、それを裏付けるような心理学実験や人類学の調査がなされてきた。だが、これらは本当か。著者は定説の真偽を確かめるべく世界中を飛び回り…。西洋思想を貫く「暗い思想」に挑む。

2021:7./ 269p

978-4-16-391407-7

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/22



希望の歴史～人類が善き未来をつくるための 18 章～<下>

ルトガー・ブレグマン 著

文藝春秋

「人間の本性は善である」ことを人類史、心理学、思想史、経済史を横断して論じる。そして善人が悪人になってしまう理由とは何か、なぜ人類は生き残れたのか、これから生き延びるためにどうすればよいかを綴った「希望の書」。

2021:7./ 269p

978-4-16-391408-4

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/08/22



婿どの相逢席

西條 奈加 著
幻冬舎

小さな楊枝屋の四男・鈴之助は、相思相愛のお千瀬の生家である大店の仕出屋「逢見屋」へめでたく婿入り。誰もが羨む逆玉婚のはずだったが…。夫婦奮闘記。『岩手日報』『山口新聞』ほか地方紙連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2021/08/22

2021:6./ 346p
978-4-344-03807-3
本体 ¥1,760〔税込〕



大阪時事新報の研究～「関西ジャーナリズム」と福澤精神～(叢書パルマコン 05)

松尾 理也 著
創元社

「商業的負け組」のメディア史論。啓蒙家・福澤諭吉の精神を掲げ、第三極として関西に存在感を示した『大阪時事新報』。明治末期から占領期までの『大阪時事新報』のあゆみを検証し、「関西ジャーナリズム」の本質に迫る。

産経新聞 2021/08/22

2021:7./ 405p
978-4-422-20297-6
本体 ¥4,620〔税込〕



歴史の鑑定人～ナポレオンの死亡報告書からエディソンの試作品まで～

ネイサン・ラップ／ルーク・パール 著
草思社

キング牧師が刑務所で書いた恋文、ジョン・F・ケネディ暗殺時の録音テープ…。当代きつての世界的な鑑定家が、これまでに売買してきた歴史的偉人たちの遺品について語り、知られざる世界史の断片を明らかにする。

産経新聞 2021/08/22

2021:7./ 395p
978-4-7942-2525-2
本体 ¥2,420〔税込〕



日本美術の冒険者～チャールズ・ラング・フリーアの生涯～

中野 明 著
日本経済新聞出版社

琳派、北斎の肉筆浮世絵など日本美術の名品 2 千点は、ひとりの米国人が独自の鑑定眼で蒐集したものだった。チャールズ・ラング・フリーアの生涯を辿り、米国初の国立美術館に現存する日本美術コレクションのなりたちを迫る。

産経新聞 2021/08/22、読売新聞 2021/08/29

2021:6./ 335p, 34p
図版 48p
978-4-532-17705-8
本体 ¥3,850〔税込〕



東京「スリパチ」地形散歩～凹凸を楽しむ～ 増補改訂

皆川 典久 著
宝島社

人知れず谷地や窪地が刻印されたフィールドが果てしなく広がる東京。谷のターミナル「渋谷」、偉大なる窪み「大久保」、江戸を造った谷「日比谷」など、東京の「スリパチ(谷)」地形をガイド。16 エリアの 3D マップ付き。

産経新聞 2021/08/28

2021:2./ 223p
978-4-299-01446-7
本体 ¥1,980〔税込〕



みとりねこ

有川 ひろ 著
講談社

猫の浩太は、一家の長男・浩美と生まれたときからずっと一緒。いつも?油にひたした肉球で、テーブルクロスにハンコをペタペタ。そのわけは…。表題作をはじめ、旅猫リポート外伝「ハチジカン」など猫をめぐる全 7 編を収録。

産経新聞 2021/08/29

2021:8./ 262p
978-4-06-524130-1
本体 ¥1,705〔税込〕





貝に続く場所にて

石沢 麻依 著
講談社

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011年3月の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合い…。静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/08/29

2021:7./ 151p
978-4-06-524188-2
本体 ¥1,540〔税込〕



古くて素敵なクラシック・レコードたち

村上 春樹 著
文藝春秋

60年近くレコード屋に通い続けた村上春樹が、これまでに集めたクラシック・レコードの中から、好きなレコード、面白いレコード 486 枚を紹介。美しいジャケットもオールカラーで掲載する。

産経新聞 2021/08/29

2021:6./ 356p
978-4-16-391383-4
本体 ¥2,530〔税込〕



人類がもっと遠い宇宙へ行くためのロケット入門

小泉宏之 著
インプレス

宇宙で何をする？ ロケットはどう飛ぶ？ 宇宙とロケットの「いろは」を綴った、人類が宇宙に進出するための入門書。現時点での宇宙開発の実力と、将来の宇宙開発の方向性を、イラストや写真を交えてわかりやすく解説する。

産経新聞 2021/08/29

2021:7./ 159p
978-4-295-01171-2
本体 ¥1,980〔税込〕



源氏の白旗～落人たちの戦～

武内 涼 著
実業之日本社

最後の戦、してみせん。源義朝、頼朝、義経、義仲ら源氏の武将と、静御前、巴御前から共に戦う女の生き様を描く慟哭の歴史小説。『Web ジェイ・ノベル』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2021/08/29

2021:7./ 266p
978-4-408-53788-7
本体 ¥1,870〔税込〕



山崎正和の遺言

片山 修 著
東洋経済新報社

劇作家・批評家として日本の「知」を牽引し、「サントリー文化財団」を舞台に「知のサロン」を創造・演出した山崎正和。時代背景やキーパーソンの歴史的証言をもとに、「戦後最大の知識人」の肖像を描く。インタビューも収録。

産経新聞 2021/08/29

2021:6./ 5p,332p,5p
978-4-492-22399-4
本体 ¥2,420〔税込〕



緒方竹虎と日本のインテリジェンス～情報なき国家は敗北する～ (PHP 新書 1269)

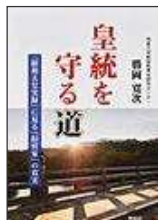
江崎 道朗 著
PHP研究所

大戦中、情報と国策の問題に苦しみ、戦後は吉田茂内閣のもとで「日本版 CIA」の設立を目指した緒方竹虎。日本の国民性や民意に基づいて運営されるべき情報・諜報活動の要諦を、彼の苦闘を通じて考究する。

産経新聞 2021/08/29

2021:7./ 413p
978-4-569-84992-8
本体 ¥1,320〔税込〕





皇統を守る道～『昭和天皇実録』に見る「旧宮家」の真実～

勝岡 寛次 著

明成社

126代にわたり、一度の例外もなく男系で継承されてきた日本の皇室。皇位継承が危機に晒されている歴史的背景と、皇籍離脱後も続いてきた旧皇族と皇族の交流を、「昭和天皇実録」等に依拠して明らかにする。

2021:7./ 54p

978-4-905410-64-5

本体 ¥660〔税込〕



産経新聞 2021/08/29



深尾くれない(朝日文庫 朝日時代小説文庫 う17-3)

宇江佐真理／宇江佐真理 著

朝日新聞出版

鳥取藩士・深尾角馬は剣の道に邁進していたが、不貞をはたらいたふたりの妻を無残にも斬り捨てる。やがて一人娘の縁談がこじれたことを恨み…。孤高の剣客の壮絶な生涯を妻・かのと娘・ふきを通して描き切った長編時代小説。

2021:7./ 420p

978-4-02-264997-3

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



内村光良リーダー論～チームが自ずと動き出す～(朝日新書 820)

畑中翔太 著

朝日新聞出版

ウッチャンはリアルに「理想の上司」だった！お笑い芸人・内村光良と仕事をする中で人を動かす力に魅せられた著者が、芸人、放送作家など関係者 24 人の証言をもとに、最高のチームを作り出すリーダーの秘密を解き明かす。

2021:6./ 270p

978-4-02-295128-1

本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



変貌する未来～世界企業 14 社の次期戦略～(講談社現代新書 2625)

クーリエ・ジャポン 編

講談社

GAFA、アリババ、スタートアップ…。世界を動かす企業の次の一手とは？大きな影響力を持つ 14 の企業の CEO インタビューや分析記事をテーマ別に収録。オンラインメディア『クーリエ・ジャポン』掲載を書籍化。

2021:7./ 277p

978-4-06-524525-5

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



我は、おばさん

岡田 育 著

集英社

「更級日記」から「マッドマックス」まで、文学・漫画・映画を紐解き、ポジティブに「おばさん」像を再定義。大人の女性の呪いを解くカルチャーエッセイ。ジェーン・スーとの対談も収録。『すばる』連載を加筆し単行本化。

2021:6./ 249p

978-4-08-771747-1

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



なぜ世界を知るべきなのか(小学館 YouthBooks)

池上 彰 著

小学館

多様な文化、多様な思考、多様な生き方-。日本にいてだけでは決して持ち得ない視点を持てたら、誰でも必ず成長する。世界を旅してきた池上彰が若者に、コロナ禍で内向き志向になっている今こそ世界に目を向けようと伝える。

2021:7./ 207p

978-4-09-227285-9

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



パンデミック日記

「新潮」編集部 編
新潮社

世界中が新型コロナウイルスに翻弄された激動の 2020 年を、表現者たちはいかにかに生きたのか？ 筒井康隆、ヤマザキマリ、坂本龍一ら 52 人が書き留めた計 366 日の「個人的な体験」を、日記リレーで未来に伝える。

朝日新聞 2021/08/07

2021:6./ 215p
978-4-10-354051-9
本体 ¥1,980〔税込〕



V.<上>(Thomas Pynchon Complete Collection 1963)

トマス・ピンチョン 著
新潮社

闇の現代史の随所に痕跡を残す謎の女 V.。その謎に取り憑かれた「新世紀の子」と、海軍暮らしに別れを告げて街路で漂泊する「木偶の坊」。1955 年のクリスマス・イブ。軍港町ノーフォークに響く歌声で物語は幕を開け…。

朝日新聞 2021/08/07

2011:3./ 382p
978-4-10-537207-1
本体 ¥3,300〔税込〕



V.<下>(Thomas Pynchon Complete Collection 1963)

トマス・ピンチョン 著
新潮社

謎の女 V.とはいったい誰なのか？ そもそも何なのか？ 次々と現れる手がかりが空前の謎を編み上げてゆく。そして「新世紀の子」ステンシルと「木偶の坊」プロフェインは、マルタ島へと吸い寄せられて…。

朝日新聞 2021/08/07

2011:3./ 398p
978-4-10-537208-8
本体 ¥3,300〔税込〕



ヴァインランド(Thomas Pynchon Complete Collection 1990)

トマス・ピンチョン 著
新潮社

1984 年の夏。別れた妻をいまだ忘れられぬ中年ヒッピーのゾイドの日常は、過去の亡霊の登場で一変した。昔なじみの麻薬捜査官が示唆した闇の男の、再びの蠢動。失われた母を求める娘ブレイリーは…。解説付きの改訳決定版。

朝日新聞 2021/08/07

2011:10./ 621p
978-4-10-537210-1
本体 ¥4,400〔税込〕



重力の虹<上>(Thomas Pynchon Complete Collection 1973)

トマス・ピンチョン 著
新潮社

1944 年、ロンドン。連合軍情報局のスロースロップ中尉は V2 ロケットに脅えながらもナンパにいそしみ…。エロスとタナトス、ギャグと知の伝説的問題作。ピンチョン研究の第一人者による翻訳。詳細な註も収録。

朝日新聞 2021/08/07

2014:9./ 751p
978-4-10-537212-5
本体 ¥4,620〔税込〕



重力の虹<下>(Thomas Pynchon Complete Collection 1973)

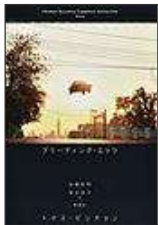
トマス・ピンチョン 著
新潮社

ロケットマンとなったスロースロップ。一方<ゾーン>で絡み合う陰謀の網は巨大な広がりを見せ…。エロスとタナトス、ギャグと知の伝説的問題作。ピンチョン研究の第一人者による翻訳。詳細な註、解説なども収録。

朝日新聞 2021/08/07

2014:9./ 729p, 19p
978-4-10-537213-2
本体 ¥4,620〔税込〕





フリーディング・エッジ(Thomas Pynchon Complete Collection 2013)

トマス・ピンチョン 著

新潮社

2001 年春、マンハッタン。企業の不正会計調査を生業とするマキシーンがひょんなことから覗き込んだネットの深部には、あまりにも危険なテロの予兆が…。運命の 9 月 11 日を挟んで、マキシーンとその家族たちの 1 年を描く。

2021:5./ 701p

978-4-10-537214-9

本体 ¥4,510〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



東アジアの王権と思想 増補新装版

渡辺 浩 著

東京大学出版会

擬洋風の明治天皇制国家はなぜ誕生したのか。儒学が体制教学であった中国・朝鮮との近似と相違を探りながら、近世から近代へと展開する政治体制の思想を剔抉する。新論考「宗教」とは何だったのか」も収録。

2016:12./

14p,286p,8p

978-4-13-030162-6

本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



明治革命・性・文明～政治思想史の冒険～

渡辺 浩 著

東京大学出版会

わずか 4 隻の米国船の渡来をきっかけに徳川体制は動揺し、すみやかに崩壊した。当時を生きた人々の政治や人生にかかわる考えや思い、さらにジェンダーとセクシュアリティの変動を探る。

2021:6./

10p,601p,16p

978-4-13-030178-7

本体 ¥4,950〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



雲州下屋敷の幽霊(文春文庫 や 72-2)

谷津 矢車 著

文藝春秋

雲州松平宗行は侍女・お幸に執拗な虐めを繰り返す。どんな仕打ちにも動じず、生きる喜びさえ口にする女に業を煮やした宗行は、その白い背中に刺青を入れるよう命じ…。江戸時代の事件を基に描く、無惨で陰鬱で美しい短編集。

2021:7./ 251p

978-4-16-791720-3

本体 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



夏の坂道(潮文庫 む-1)

村木嵐 著

潮出版社

帝国憲法が公布された年に生まれた南原繁は、やがて一高で師である新渡戸稲造、内村鑑三らや生涯の親友と出会い、学問とキリストの道へ…。学問の自由のために闘った戦後最初の東大総長・南原繁の生涯を描いた長編小説。

2021:7./ 476p

978-4-267-02289-0

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



長与専斎と内務省の衛生行政

小島 和貴 著

慶應義塾大学出版会

西洋をモデルに、日本の衛生行政の基礎を築いた長与専斎。彼の衛生行政構想について、医学等学術の「政務的運用」と、「官」と「民」の協調の推進という視点で接近し、内務省の衛生行政においていかに扱われたのかを解明する。

2021:5./ 13p,285p,2p

978-4-7664-2750-9

本体 ¥5,940〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



ホーキング、ホーキング～自らの神話を構築した天才の知られざる物語～

チャールズ・サイフェ 著

青土社

短気で、尊大で、冷淡で、それでいて温かく、軽妙で、才気にあふれたスティーヴン・ホーキング。彼はなぜ世界一有名な科学者になることができたのか。物理学の才能に加え、自らの神話を構築する天才であった男の物語。

2021:6./ 594p,43p

978-4-7917-7386-2

本体 ¥3,960〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



ビジョナリー・カンパニー<2> 飛躍の法則

ジェームズ・C.コリンズ 著

日経BP社

95 年刊のベストセラー「ビジョナリーカンパニー」の著者による、徹底的なデータ分析に裏付けられた超優良企業の条件。「どうすればグッド・カンパニーはグレート・カンパニーになれるのか」という問いを追求する。

2001:12./ 420p

978-4-8222-4263-3

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



道徳感情論(NIKKEI BP CLASSICS)

アダム・スミス 著

日経BP社

アダム・スミス最初の著作である「道徳感情論」の新訳。「国富論」に先立って「経済学の父」が構想した「共感」原理に基づく道徳哲学の全貌。

2014:4./ 754p

978-4-8222-5000-3

本体 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



虫のぬけがら図鑑～脱皮と成長から見る昆虫の世界～

安田 守 著

ベレ出版

カリカリのぬけがら、ふにゃふにゃのぬけがら…。このぬけがら、誰のもの？ 日本に生息する昆虫 288 種およびクモなどの節足動物 6 種が残す 558 種類のぬけがらを紹介。脱皮場面の連続写真、成虫や幼虫などの写真も掲載。

2021:7./ 202p

978-4-86064-660-8

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



新型コロナ「正しく恐れる」<2> 問題の本質は何か

井上 亮 編

西村 秀一 著

藤原書店

新型コロナ発生から 1 年余。呼吸器系ウイルス感染症の第一人者が、医療資源・病床利用、ワクチンへの評価、「リスクコミュニケーション」の必要性など、新型コロナ問題への「本質的」な対策を提言する。

2021:6./ 244p

978-4-86578-316-2

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



治安維持法の歴史<1> 治安維持法の「現場」

荻野 富士夫 著

六花出版

人の思いや信仰の良し悪しを国が判断し、糾弾し、司法の場で裁く根拠となった治安維持法。特高警察の検挙、思想検察による起訴など各現場での運用実態を、資料をもとに解明する。ジャケットそでにテキストデータ引換券あり。

2021:5./ 6p,361p

978-4-86617-134-0

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



言葉たちに～戦後詩私史～

平林 敏彦 著

港の人

「荒地」派詩人たちとほぼ同世代の詩人、平林敏彦。詩とともに歩んだ生涯の回想や、見送った亡き詩人たちへの思いを綴ったエッセイ、新作の詩を収録。田村隆一が三好豊一郎への呼びかけとして書いた詩論も再録。

2021:6./ 213p

978-4-89629-392-0

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



特高警察体制史～社会運動抑圧取締の構造と実態～ 増補新装版

荻野富士夫 著

明誠書林

特高警察といえば、拷問やスパイによる共産主義運動の弾圧が想起されるが、その機構と実態は案外知られていない。基本的な実証に基づく特高警察の通史的全体像を提示し、国民生活全般にまで及んだ抑圧取締の実態を解明する。

2020:6./ 509p,15p

978-4-909942-08-1

本体 ¥9,790〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



ニューノーマル<1>(コミックアウル)

相原瑛人 著

日販アイ・ピー・エス

「僕たちが生まれる少し前、ひとつの感染症が世界を変えた」—— マスクで口元を隠すことが当たり前の日常となった近未来。世界流行前の時代に密かに思いを馳せる少女・夏木とクラスメイトの奏は、ふとしたことから小さな秘密を共有する仲になり……。 「新しい日常」の世界を生きる二人の「新しい非日常」の物語が、動き出す！

2021:7./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-910617-00-8

本体 ¥748〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07



ヒロシマを暴いた男～米国人ジャーナリスト、国家権力への挑戦～

レスリー・M・M・ブルーム 著

集英社

終戦から1年。世界を揺るがす大スcoop「ヒロシマ」は、いかにしてアメリカ軍やGHQの隠蔽と検閲をすり抜け、世に知られたのか。国家権力に挑んだジャーナリスト、ジョン・ハーシーと雑誌『ニューヨーカー』の軌跡を辿る。

2021:7./ 284p

978-4-08-773515-4

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07、産経新聞 2021/08/08



挑発する少女小説(河出新書 033)

斎藤 美奈子 著

河出書房新社

大人になって読む少女小説は、新たな発見に満ちている。あの名作には、いったい何が書かれていたのか? 「小公女」「若草物語」「ハイジ」「赤毛のアン」「あしながおじさん」など、翻訳少女小説9冊を読み直す。

2021:6./ 273p

978-4-309-63134-9

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07、産経新聞 2021/08/08



生物はなぜ死ぬのか(講談社現代新書 2615)

小林 武彦 著

講談社

生命の死には重要な意味がある。遺伝子に組み込まれた「死のプログラム」とは-。根源的な疑問である「そもそもなんで生き物は死ぬのか」について、生物学的視点から考察する。

2021:4./ 217p

978-4-06-523217-0

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/07、読売新聞 2021/08/15



ミライを生きる君たちへの特別授業(岩波ジュニアスタートブックス)

ジュニスタ編集部 著

岩波書店

生きづらさ、人間関係、進路…。さまざまな不安や悩みをもつ中学生に向けて、大人達が自分の経験や考えを真剣に伝える。東京都内の公立中学校で実際に行われた授業をまとめた一冊。

2021:7./ 125p

978-4-00-027239-1

本体 ¥1,595〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



日本レスリングの物語 増補版(岩波現代文庫 社会 326)

柳澤 健 著

岩波書店

日本のレスリングは柔道とプロレスの異種格闘技から始まった。日本レスリングの父・八田一朗から、黄金期のスーパースターや指導者たち、現在最前線で戦う選手たちまで、無数のドラマと多様な人物を描く。終章を加えた増補版。

2021:7./ 5p,519p

978-4-00-603326-2

本体 ¥1,738〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



つながり続けるこども食堂

湯浅 誠 著

中央公論新社

誰にでも開かれたこども食堂は、コロナ禍にも負けず全国に爆発的に増え続ける。人びとの生きづらさをやわらげるこども食堂の現在とその可能性を問う。『Yahoo!ニュース個人』連載をもとに書き下ろし等を加えて単行本化。

2021:6./ 261p

978-4-12-005438-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



ショローの女

伊藤 比呂美 著

中央公論新社

熊本-東京を行き来する新しい生活。あたしを待つのは、愛犬、植物、学生たちで…。ハマル事象や加齢の実状、一人の寂しさなど、詩人・伊藤比呂美が老いの体感をリアルに刻む。『婦人公論』連載を加筆、再構成し単行本化。

2021:6./ 250p

978-4-12-005442-6

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



最悪の予感～パンデミックとの戦い～

マイケル・ルイス 著

早川書房

世界健康安全保障指数 1 位のアメリカが、なぜ最大の「コロナ敗戦国」となったのか。コロナ禍を戦った知られざる英雄たちの姿を通じ、意思決定と危機管理の本質を描く。池上彰の解説付き。

2021:7./ 395p

978-4-15-210039-9

本体 ¥2,310〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



手紙のなかの日本人(文春文庫 は 8-36)

半藤 一利 著

文藝春秋

無心状、恋文、遺書…。歴史を彩る文人武人の手紙には、真率な感情が綴られている。歴史探偵・半藤一利が「いろいろな人と、一杯やりながらの会話を楽しむつもり」で、美しい日本の手紙を読み解いた名著を復刊。

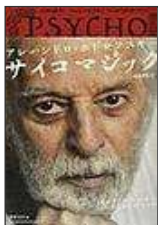
2021:7./ 251p

978-4-16-791727-2

本体 ¥781〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



サイコマジック

アレハンドロ・ホドロフスキー 著

国書刊行会

広く旺盛に活動を続ける芸術家、アレハンドロ・ホドロフスキーがライフワークとして取り組む、アートとセラピーを融合させた心理療法<サイコマジック>の全貌を明らかにする。インタビューなども収録。

2021:6./ 457p

978-4-336-07035-7

本体 ¥4,180〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



修験道入門(ちくま学芸文庫 コ 51-1)

五来 重 著

筑摩書房

日本人の宗教の原点である「修験道」。霊山の開祖たち、山伏の厳しい修行、篠懸や法螺貝といった特別な服装や持物などの起源と意味を迫りつつ、修験道の歴史と精神を、宗教民俗学者が平明に説く。

2021:6./ 472p

978-4-480-51055-6

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



納豆の食文化誌

横山 智 著

農山漁村文化協会

調味料として使ったり、チーズの代用品としたり、植物の葉や段ボール箱の中で自然発酵させたり…。アジア全域のソウルフードでありながら、地域によってさまざまな姿を持つ納豆の深い世界を、豊富な写真や図版とともに伝える。

2021:6./ 301p

978-4-540-18117-7

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



羞恥

チョン スチャン、斎藤 真理子 著

みすず書房

オリンピックの選手村建設予定地で、朝鮮戦争にさかのぼる大量の人骨が出土した。経済至上主義のなかで、脱北者たちのささやかな倫理観が崩れ落ちていき…。大事なものを失った哀しみの中に、韓国社会の今を映し出した名篇。

2018:8./ 225p

978-4-622-08716-8

本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



ディディの傘(となりの国のものがたり 06)

ファン・ジョンウン 著

亜紀書房

孤立し、閉塞感が強まる日常の中で、人はいかに連帯し、突破していくのか? 「セウォル号沈没事故」「キャンドル革命」という韓国で起きた社会的激変を背景に、人が人として生きることを問う連作小説。

2020:9./ 284p

978-4-7505-1668-4

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



トヨタの会議は 30 分～GAFAM や BATH にも負けない最速・骨太のビジネスコミュニケーション術～

山本大平 著

すばる舎

嫌われることを恐れない、無駄な議事録はつくらない、口 2 耳 8 で喋りすぎない。読めるけれども空気を読まない…。トヨタ自動車で実践されていた会議術や部下指導法、ビジネスコミュニケーションのノウハウを紹介する。

2021:4./ 215p

978-4-7991-0949-6

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



1日1本、365日毎日ホラー映画

ブライアン・W・コリンズ 著

竹書房

アジアン・ホラー、スラッシャー映画、インディーズ・ホラー、ヴァンパイア映画…。6年間、毎日1本、ホラー映画を見続けた男が、伝統的なベストホラー映画以外からセレクトした傑作、迷作を紹介する。

2021:7./ 639p

978-4-8019-2622-6

本体 ¥3,740〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



ハイデガー事典

ハイデガー・フォーラム 編

昭和堂

人間と世界のあり方を考えるための事典。読み物的要素のテーマ編、情報を項目ごとに解説する用語編、人名編で構成。各種文献案内、各国語の訳語対照表、詳細な年譜なども掲載する。Web 版利用パスワード(シール隠し)付き。

2021:6./ 18p,642p

978-4-8122-2007-8

本体 ¥11,000〔税

込〕



朝日新聞 2021/08/14



1945鉄原(YA!STAND UP)

イ ヒョン、梁 玉順 著

影書房

1945 年。日本の支配から解放された朝鮮半島の、ほぼ中央に位置する街・鉄原。解放直後の混乱のなか、不穏な事件が次々と起こる。事件の真相を探るために3人の若者が38度線を越えて京城(現ソウル)へと向かうが…。

2018:3./ 357p

978-4-87714-476-0

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



アンダー、サンダー、テンダー(新しい韓国の文学 13)

チョン・セラン 著

クオン

「私」の初恋の記憶は、ある事件によって色彩を失っている。ショックで精神のバランスを崩した「私」は、友人や家族の動画を撮り、一つのファイルにまとめた。それは「私」に、次のステップを踏み出すためのきっかけを与え…。

2015:7./ 315p

978-4-904855-31-7

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14



神よ憐れみたまえ

小池 真理子 著

新潮社

昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生した夜、12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。音楽家を目指す美貌の彼女の行く手に、事件が重く立ちはだかり…。生と死の意味を問う長篇小説。

2021:6./ 570p

978-4-10-409810-1

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14、読売新聞 2021/08/22



都会の異界～東京23区の島に暮らす～

高橋 弘樹 著

産業編集センター

東京にある離島・佃島に移住し、23区にしながら「島暮らし」というライフスタイルを追求する著者が、城南島、中之島、勝島、平和島など、「都会の辺境」で出会った21人の「島人」の人生譚を紹介する。

2021:7./ 285p

978-4-86311-304-6

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14、読売新聞 2021/08/29



私がホームレスだったころ～台湾のソーシャルワーカーが支える未来への一歩～

李?萱 著

白水社

台湾のホームレスが再起できたケースの背後には、ソーシャルワーカーの長期的な尽力があった。台湾の 10 人のホームレスと、彼らを支援する 5 人のソーシャルワーカーの人生を鮮やかに描くルポ。

2021:7./ 347p

978-4-560-09793-9

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/08/14、日本経済新聞 2021/08/21



部活動の社会学～学校の文化・教師の働き方～

内田 良 著

岩波書店

部活動は制度の手が及ばないことで、魅力が過熱に転じ、さまざまな課題が積み重なっている。部活動の現実を、とくに教員の関わり方に注目して、社会学が得意とする質問紙調査から「見える化」を試みる。

2021:7./ 16p,210p

978-4-00-061479-5

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



あなたにオススメの

本谷 有希子 著

講談社

身体に超小型電子機器を複数埋め込む推子にとって、オフライン志向にこだわるママ友が子育てに悩む姿は最高のエンターテインメントで...。「推子のデフォルト」と「マイイベント」を収録。『群像』掲載を書籍化。

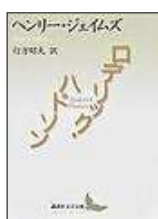
2021:6./ 254p

978-4-06-523526-3

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



ロ德里ック・ハドソン(講談社文芸文庫 シ A6)

HENRY JAMES 著

講談社

彫刻家を目指す美青年ロ德里ックと若き庇護者ローランド、純真素朴な婚約者メアリ、絶世の美女クリスティーナ。モダニズム文学の先駆者が 1875 年に発表した、4 人の恋と芸術、人生の深淵を巡る物語を 60 年ぶりに新訳。

2021:6./ 613p

978-4-06-523615-4

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



フェルマーの最終定理(新潮文庫)

サイモン・シン 著

新潮社

朝日新聞 2021/08/21

2006:5./ 495p

978-4-10-215971-2

本体 ¥935〔税込〕



数学者たちの楽園～「ザ・シンプソンズ」を作った天才たち～(新潮文庫 シ-37-7)

サイモン・シン 著

新潮社

アメリカの人気風刺アニメ「ザ・シンプソンズ」の脚本家はハーバード卒だらけ。街角の貼り紙に意味不明な数式が書かれていたり、キャラクターたちの与太話の話題が宇宙物理学だったり...。作品に隠された数学の魅力を読み解く。

2021:8./ 442p,45p

978-4-10-215977-4

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



量子革命～アインシュタインとボーア、偉大なる頭脳の激突～(新潮文庫 シ-38-26)

マンジット・クマール 著

新潮社

アインシュタイン、ボーア、ハイゼンベルク…。天才物理学者たちはいかにしてニュートン以来の古典的な世界像を転覆してみせたのか？ 量子革命 100 年の流れを、彼らの友情・反目・不倫など豊富な逸話をまじえて描く。

2017:2./ 697p,20p,7p

978-4-10-220081-0

本体 ¥1,155〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



ケアとは何か～看護・福祉で大事なこと～(中公新書 2646)

村上 靖彦 著

中央公論新社

ケアとは、人間の弱さを前提とした上で、生を肯定し、支える営み。ケアを受ける人や医療従事者などへの聞き取りを通じて、より良いケアのあり方を模索。「当事者主体の支援」を探り、コロナ後の課題についても論じる。

2021:6./ 6p,236p

978-4-12-102646-0

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



ホワイト・ティース<上>(中公文庫 ス 10-1)

ゼイディー・スミス 著

中央公論新社

ロンドン下町出身の優柔不断な中年男・アーチャーと、バングラデシュ出身の誇り高きムスリム・サマード。第二次大戦で親友になったふたりは、ロンドンで新たな人生を模索する。移民家族の波瀾万丈を、知的でユーモラスに描く。

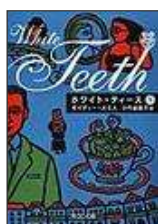
2021:6./ 430p

978-4-12-207082-0

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



ホワイト・ティース<下>(中公文庫 ス 10-2)

ゼイディー・スミス 著

中央公論新社

成長したアーチャーの娘・アイリーとサマードの双子の息子・ミラトとマジドは、遺伝子工学者のチャルフェン一家と関わり、生命倫理にふれる研究をめぐる問題の渦中へ。多文化社会の困難と希望を愉快地に描く。

2021:6./ 468p

978-4-12-207083-7

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



己丑の大火(照降町四季 2)

佐伯 泰英 著

文藝春秋

文政 12 年、江戸を大火が襲った。日本橋を焼き落とした炎が照降町の梅の木に迫ったその時、佳乃は決死の行動に出る。周五郎と町の人々は果たして。そして小伝馬の牢から解放された囚人たちの行方は…。文庫も同時刊行。

2021:5./ 267p

978-4-16-391366-7

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



梅花下駄(照降町四季 3)

佐伯 泰英 著

文藝春秋

文政 12 年夏。江戸を焼き尽くした大火を乗り越え、復興に向け動き出す照降町。花魁・梅花から「新しい下駄」の制作を託された佳乃は、大火で命を落とした人々の鎮魂のための催しを思いつき…。文庫も同時刊行。

2021:6./ 278p

978-4-16-391381-0

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



超空気が支配社会(文春新書 1316)

辻田 真佐憲 著
文藝春秋

暴走する東京五輪、コロナ自粛という空気…。われわれの社会は、SNS の普及で超空気が支配社会となり、これまでにない新しい同調圧力、新しいプロパガンダを生み出しつつある。ネット時代の日本を鋭く活写した評論集。

2021:6./ 287p
978-4-16-661316-8
本体 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



初詣で～照降町四季(1)～(文春文庫 さ 63-201)

佐伯 泰英 著
文藝春秋

男と駆け落ちした鼻緒屋の娘・佳乃が 3 年ぶりに照降町に戻ってきた。父は病に伏し、店には職人見習いの浪人・周五郎が。町の人びとの人情に触れ、女職人として腕を磨く決意をした佳乃の前に元亭主が現れ…。単行本も同時刊行。

2021:4./ 325p
978-4-16-791669-5
本体 ¥825〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



一夜の夢～照降町四季(4)～(文春文庫 さ 63-204)

佐伯 泰英 著
文藝春秋

大火からの復興の要として人びとの支えとなっている周五郎だったが、小倉藩の派閥争いの中、実兄が暗殺される。藩の行く末と町での暮らしの間で揺れる周五郎。彼がいずれ去ることを覚悟する佳乃は…。完結。単行本も同時刊行。

2021:7./ 361p
978-4-16-791717-3
本体 ¥825〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



ミュージアムグッズのチカラ

大澤夏美 著
国書刊行会

ミュージアムグッズ。それは私たちを博物館へと誘う「チカラ」に溢れている。「かわい
いを楽しみたい」「感動を持ち帰りたい」など、博物館の楽しみ方ごとにミュージアムグ
ッズを紹介。開発秘話や博物館データも掲載する。

2021:7./ 140p
978-4-336-07107-1
本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



周辺からの記憶～三・一一の証人となった十年～

村本邦子 著
国書刊行会

東日本大震災を周辺から記憶し、記録してきた 10 年間の物語。東北各県で、漫画展
やイベントに支援者・家族向けのプログラムを加えたプロジェクトを行ってきた著者が、
そのなかで出会った人々や事象について綴る。

2021:7./ 309p
978-4-336-07141-5
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



小さな声、光る棚～新刊書店 Title の日常～

辻山 良雄 著
幻冬舎

荻窪に本屋を構えて 5 年。本を並べ、客の手に渡るまでを見届ける日々から見えるこ
と。効率、拡大、利便性…。いまだ高速回転する世界に響く日常エッセイ。『幻冬舎
plus』連載に加筆・修正。

2021:6./ 238p
978-4-344-03804-2
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



「うつ」の効用～生まれ直しの哲学～(幻冬舎新書 い-28-2)

泉谷閑示 著

幻冬舎

「頭」「心」「身体」という概念を使って、「うつ」のからくりを従来にはなかった方法で分かりやすく解説。「うつ」そのものについての捉え方や向き合い方、実際の療養や援助に際しての具体的なヒントを詳細に示す。

2021:7./ 260p

978-4-344-98626-8

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



東映任侠映画 120 本斬り(ちくま新書 1594)

山根 貞男 著

筑摩書房

「網走番外地」「日本?客伝」など、1960 年代後半?70 年代にかけて、高度成長まっただ中の時代に、一世風靡したヤクザ映画の数々。それらの作品を同時代に見続けてきた著者が、作品の映像美と活気あふれる魅力に迫る。

2021:8./ 360p

978-4-480-07399-0

本体 ¥1,210〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



向田邦子ベスト・エッセイ(ちくま文庫 む 13-1)

向田 和子 編

向田 邦子 著

筑摩書房

向田邦子の手にかかれば、ごく平凡に見える日常が鮮やかな色彩を帯びて動き出す。家族、食、私、仕事のことから处世術まで綴ったエッセイを、末妹がテーマ別に 50 篇精選する。

2020:3./ 373p

978-4-480-43659-7

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



中国(チャイナ)ファクターの政治社会学～台湾への影響力の浸透～

川上 桃子／呉介民 編

川上 桃子／呉 介民 著

白水社

政治、経済、観光、宗教。さまざまな領域でケーススタディを行い、台湾社会における中国の影響力の浸透がどのような構図のもとで進んできたのかを考察する。台湾社会の側からの反作用についても論じる。

2021:6./ 274p,9p

978-4-560-09852-3

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



建築の明日へ～生活者の希望を耕す～(平凡社新書 980)

松村 秀一 著

平凡社

世界の先端を走ってきた日本の建築界が、成長の限界を迎えている。進化する新技術に対応しつつ、人材活用を進めるには何を考え、どう実行すればよいのか。建築教育の最前線から、新たな時代を切り拓くための提言を発信する。

2021:7./ 212p

978-4-582-85980-5

本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



怪人二十面相(ポプラ文庫)

江戸川 乱歩 著

ポプラ社

大ベストセラー「少年探偵」シリーズが、懐かしい装丁をそのままに、文庫化！ 怪人二十面相と名探偵明智小五郎、初めての対決。【…

2008:11./ 275p

978-4-591-10619-8

本体 ¥616〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



誘拐の日(ハーパーBOOKS M・チ 1・1)

チョン・ヘヨン 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

娘の手術費用のため誘拐を決意したミョンジュン。ところがターゲットの少女ロヒをうっかり車ではね、その衝撃でロヒは記憶を失う。しかもロヒの家から両親の死体が発見され、ミョンジュンは殺人の容疑者に…。韓国ミステリー。

2021:6./ 495p

978-4-596-54157-4

本体 ¥1,290〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



中世は核家族だったのか～民衆の暮らしと生き方～(歴史文化ライブラリー 524)

西谷 正浩 著

吉川弘文館

新しい家族システムとして日本的な家制度が出現した中世。親子・兄弟が別居する家族システムで、人々はいかに暮らし生き抜いたか。様々な角度から家族構造の大変動の背景を探り、民衆生活の変化に迫る。

2021:6./ 6p,215p

978-4-642-05924-4

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



世界ピクト図鑑～サインデザイナーが集めた世界のピクトグラム～

児山啓一 著

ビーエヌエヌ新社

サインデザインの専門家が集めた、世界 26 か国 80 都市のピクトグラム約 1000 点を、項目別・国別に掲載。豊富なカラー写真とともにわかりやすく解説する。

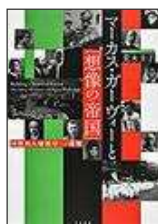
2021:8./ 191p

978-4-8025-1225-1

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



マーカス・ガーヴィーと「想像の帝国」～国際的人種秩序への挑戦～

荒木 圭子 著

千倉書房

人種差別の厳しい社会環境の中で立ち上がり、具体的な差別撤廃を模索したマーカス・ガーヴィー。BLM 運動の先駆けとも言えるトランスナショナルな運動の全容を描く。

2021:6./ 7p,237p

978-4-8051-1233-5

本体 ¥6,050〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



暴力被害と女性～理解・脱出・回復～(こころの健康を考える)

村本 邦子 著

昭和堂

ドメスティック・バイオレンス、セクシャル・ハラスメント、レイプに焦点をあて、臨床心理士の立場から被害にあった人はどう行動すべきかを具体的に提唱するとともに、「女性への暴力」の本質を捉える。

2001:12./ 227p

978-4-8122-0130-5

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



パイドロス(西洋古典叢書 G105)

プラトン、脇條 靖弘、内山 勝利、大戸 千之、中務 哲郎、南川 高志、中畑 正志、高橋 宏幸、マルティン・チエシュコ 著

京都大学学術出版会

恋の賛否を手掛かりに、魂不死説・魂三分説・想起説など、プラトンの主要思想の宇宙的規模での展開を通じて、「本当の弁論術」とは何かを探求する。近年の研究を踏まえた気鋭の新説。

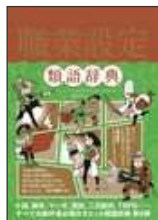
2018:7./ 246p,36p

978-4-8140-0171-2

本体 ¥3,410〔税込〕



朝日新聞 2021/08/21



職業設定類語辞典

アンジェラ・アッカーマン/ベッカ・パグリッシン 著
フィルムアート社

キャラクターの人生に欠かせない要素である職業を適切に設定するためのガイドブック。124 の職業について、「有益なスキル・才能・能力」「性格的特徴」「葛藤を引き起こす原因」など必要な情報を集約、紹介する。

朝日新聞 2021/08/21

2021:6./ 355p
978-4-8459-2025-9
本体 ¥2,420〔税込〕



グッバイ・ハロー・ワールド

北村みなみ 著
rn press

ヴァーチャル空間での初恋、自らの足で移動をしなくなった人類たち…。科学技術は未来をどう変えるのか。実現可能な技術から想起された 9 作の SF 漫画。識者によるコラムも収録。『WIRED』日本版連載に描き下ろしを追加。

朝日新聞 2021/08/21

2021:6./ 174p
978-4-910422-01-5
本体 ¥1,980〔税込〕



たぶん一生使わない? 異国のことわざ 111 (イースト新書 Q Q073)

時田昌瑞 著
イースト・プレス

「女心はバナナの葉」「酒のお礼に水」「両方からくる肉の匂いがハイエナの足を折る」など、言い回しにインパクトがあるもの、表現のおもしろいもの、たとえば絶妙なものなど、極レアな世界のことわざを紹介する。

朝日新聞 2021/08/21、読売新聞 2021/08/22

2021:7./ 191p
978-4-7816-8073-6
本体 ¥968〔税込〕



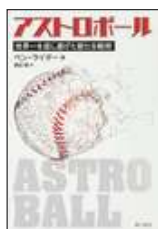
かか

宇佐見 りん 著
河出書房新社

19 歳の浪人生うーちゃんの大好きな母親=かかは、離婚を機に徐々に心を病んでいった。自分を縛るすべてが恨めしいうーちゃんは、ある無謀な祈りを抱え、熊野へと旅立つ。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2021/08/25

2019:11./ 115p
978-4-309-02845-3
本体 ¥1,430〔税込〕



アストロボール〜世界一を成し遂げた新たな戦術〜

ベン・ライター 著
KADOKAWA

成長志向やひたむきさ、チームの和やリーダーシップといった、数値化になじまない「ソフトな情報」を駆使したスカウティング・チームビルディングがアストロズを変えた-。弱小球団が初の世界一を成し遂げるまでの軌跡を描く。

朝日新聞 2021/08/28

2020:2./ 382p
978-4-04-109079-4
本体 ¥2,090〔税込〕



この世界からサイがいなくなってしまう〜アフリカでサイを守る人たち〜 (環境ノンフィクション)

味田村太郎 著
学研プラス

あと 20 年たつと、アフリカからサイがいなくなってしまうかもしれない。角をねらった密猟によって、サイの数が減っているせいだ。サイを守ろうとする人たちと密猟者の知られざる戦いを、南アフリカで取材を行った著者が描く。

朝日新聞 2021/08/28

2021:5./ 119p
978-4-05-205327-6
本体 ¥1,540〔税込〕





天人～深代惇郎と新聞の時代～(講談社文庫 こ 31-7)

後藤 正治 著

講談社

名文家しか書くことを許されない『朝日新聞』の名物コラム「天声人語」。新聞がジャーナリズムの中心にあった昭和に「天人」執筆者として輝きを放ち、惜しまれつつ早世したコラムニスト・深代惇郎を、多くの証言から描く。

朝日新聞 2021/08/28

2018:1./ 504p

978-4-06-293829-7

本体 ¥990〔税込〕



勘ね者たらん～本田靖春 人と作品～(講談社文庫 こ 31-8)

後藤 正治 著

講談社

読売新聞社会部エース記者として名を馳せ、独立後は「不当逮捕」「誘拐」「警察回り」などの名作を生んだ孤高のジャーナリスト、本田靖春。代表作を精緻に読み解きながら、その生涯を関係者の証言を通して描く。

朝日新聞 2021/08/28

2021:8./ 541p

978-4-06-523825-7

本体 ¥1,078〔税込〕



陰キャでニートでアイドルオタクだった僕が歌舞伎町で指名ナンバーワンホストになって水売る理由(わけ)(hilia TALK)

将暉 著

主婦の友社

アイドルオタクがなぜ歌舞伎町の指名ナンバーワンホストになれたのか? メニューが1500 円の水だけの「水カフェ」のマスター・将暉が、生まれてから数々の努力、恋愛と苦悩を経験し、「水カフェ」に至るまでの半生を語る。

朝日新聞 2021/08/28

2021:7./ 191p

978-4-07-448924-4

本体 ¥1,485〔税込〕



清冽～詩人茨木のり子の肖像～(中公文庫 こ 58-1)

後藤 正治 著

中央公論新社

詩集「倚りかからず」などで広く知られる詩人・茨木のり子。日常的な言葉を使いながら、烈しさを内包する詩はどのように生まれたのか。彼女の生涯と、数々の詩を生み出した清冽なる精神に迫るノンフィクション。

朝日新聞 2021/08/28

2014:11./ 300p

978-4-12-206037-1

本体 ¥814〔税込〕



イチロー・インタビューズ激闘の軌跡～2000-2019～

石田 雄太 著

文藝春秋

歴史的偉業の瞬間、大きな決断のとき、イチローはなにを考え、なにを感じていたのか。数々の名言、知られざるエピソードでヒーローの足跡をたどる。「イチロー・インタビューズ」以降の『Number』掲載をもとに大幅改稿。

朝日新聞 2021/08/28

2019:8./ 426p 図版

32p

978-4-16-391067-3

本体 ¥1,980〔税込〕



DXの思考法～日本経済復活への最強戦略～

西山 圭太、富山 和彦 著

文藝春秋

人工知能と人間の距離をどう埋めるか。アリババが自らをケーキにたとえる理由とは-。各国の「知の巨人」が認めた天才ビジョナリーが、「DX成功の極意」「ミルフィーユ化する未来」を描く。

朝日新聞 2021/08/28

2021:4./ 269p

978-4-16-391359-9

本体 ¥1,650〔税込〕





わたしたちに手を出すな(文春文庫 ホ 11-1)

ウィリアム・ボイル 著

文藝春秋

品のいい老婦人のリナ、引退した元詐欺師にして元ポルノ女優のウルフスタイン、リナの孫娘でちょっとグレかけているルシア。殺人と大金のトラブルに巻き込まれた 3 人の逃避行が始まり…。女たちの絆を描いたミステリー。

2021:8./ 443p

978-4-16-791744-9

本体 ¥1,155〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



ミシシッピ冒険記～ぼくらが 3 ドルで大金持ちになったわけ～

ダヴィデ・モロジノット 著

岩崎書店

1904 年、ミシシッピ川の河口地帯で暮らすテ・トワたちは、沼で拾った 3 ドルでピストルを買うが、通販会社から届いたのは壊れた懐中時計。しかしそれには法外な価値があり…。スリルと謎にみちたアメリカ縦断の旅の記録。

2021:7./ 395p

978-4-265-86050-0

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



史上最高の投手はだれか 完全版(潮文庫 さ-1)

佐山 和夫 著

潮出版社

生涯通算 2000 勝、完投勝利 350 勝、ノーヒットノーラン 55 試合。アメリカ野球界の伝説の投手、サ切尔・ペイジの謎と伝説に満ちた始まりから、偉大な記録を打ち立てるまでの人生に迫る。

2017:7./ 435p

978-4-267-02087-2

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



ストレイドッグス～As Time Goes By～(祥伝社文庫 ひ 16-2)

樋口明雄 著

祥伝社

昭和 40 年、米軍岩国基地近くの高校に通う 3 人の少年、アキラ、ジン、ノンタ。彼らは孤独であるがゆえ、それぞれ固い絆で結ばれていた。ある日見つけた 1 挺の拳銃が、3 人の運命を大きく狂わせることに…。

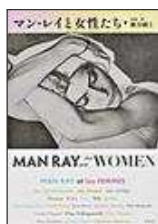
2021:8./ 431p

978-4-396-34751-2

本体 ¥979〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



マン・レイと女性たち

平凡社

20 世紀を代表する万能の写真家マン・レイ。自由に生きたミュージズたちとの交流から、天才の生涯と豊かな作品世界を浮かび上がらせる。Bunkamura ザ・ミュージアム等開催の同名展覧会の図録。

2021:7./ 271p

978-4-582-20722-4

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



すいめん

高久 至 著

アリス館

水面は、空と海の境界線。空の世界から水面を通り抜けると、魚たちが暮らす海の世界。水面は海と空の色がまざりあい、くるくると色をかえ…。様々な表情をもつ水面と、そこに暮らす海の生き物たちを美しい写真で紹介しします。

2021:7./ 32p

978-4-7520-0981-8

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



灰いろの鴉～捜査一課強行犯係・鳥越恭一郎～(ハルキ文庫 く8-1)

櫛木 理宇 著

角川春樹事務所

刑務所帰りの土橋が、老人ホームで大量殺傷事件を起こした。殺された吉永欣造は、32年前の「老人連れ去り殺人事件」の被害者の息子。捜査一課強行犯係・鳥越恭一郎は、警察官だった父との苦い記憶を思い起こし…。

2021:8./ 334p

978-4-7584-4428-6

本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



きりえや偽本大全～名作文学パロディの世界～

高木亮 著

現代書館

「罪と探」「ばしれメロス」「老人と久美」…こんな本などない! きりえ画家・高木亮の作った、名作文学のパロディをブックカバーにした「偽本」のあらすじ、元ネタの文学作品紹介などを収録。『新潮 45』連載等を書籍化。

2021:8./ 239p

978-4-7684-5903-4

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



きみが死んだあとで

代島治彦 著

晶文社

1967年、10・8羽田闘争。同胞・山崎博昭の死を背負った14人は、その後の時代をどう生きたのか? 同名ドキュメンタリー映画未収録のインタビューや、元日大全共闘議長・秋田明大に迫る書き下ろし原稿などを掲載。

2021:6./ 442p

978-4-7949-7269-9

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



八木義徳 野口富士男往復書簡集

平井 一麥・土合 弘光 ほか 編 編

田畑書店

40年以上にわたって互いの作品を評し合い、生活のこもごもを語り合った奇跡! 同じ時代を生き、ともに「私小説」を極めようと志したふたりの文士による往復書簡集。交友録、略年譜なども収録する。

2021:5./ 390p

978-4-8038-0383-9

本体 ¥6,600〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



ロボット学者、植物に学ぶ～自然に秘められた未来のテクノロジー～

バルバラ・マッツォライ 著

白揚社

自然は天才だ! 植物の根に着想を得た、世界初の成長するロボット「プラントイド」。その開発者であり、生物学者でロボット工学者の著者が、“生物学×テクノロジー”の驚きのコラボレーションを明かす。

2021:7./ 233p

978-4-8269-0229-8

本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



競技で結果を出す食事術～オリンピック選手直伝!～

高山 樹里 著

産業編集センター

オリンピック3大会出場の著者が、自身の経験と様々な競技のオリンピックの証言をまとめ、最強の食事術を紹介。瞬発力アップ、疲労回復など目的別のレシピも掲載する。コピーして使える「MY 栄養管理ノート」付き。

2021:8./ 111p

978-4-86311-308-4

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



どっちがどっちまぎらわしい生きものたち

梁井貴史 著

さくら舎

ムササビとモモンガ、イモリとヤモリ、フナとコイ、バッタとイナゴ…。似て非なる生きものたちの違いを、わかりやすく解説。イノシシという名の魚など、まぎらわしい名前の生きものたちも紹介する。

2021:8./ 176p

978-4-86581-305-0

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



Instagram～野望の果ての真実～

サラ・フライヤー 著

ニューズピックス

親会社 Facebook とザッカーバーグの妨害や社内政治により、Instagramの内部はカオスに満ちている。創業者 2 人はケタ外れの重圧にどう立ち向かったのか、その舞台裏に迫る。日本語版解説が読める QR コード付き。

2021:7./ 461p

978-4-910063-18-8

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



ハヨンガ～ハーイ、おこづかいデートしない?～

チョン・ミギョン 著

アジュマ

デジタル性暴力を社会問題にした韓国フェミニズムはどう闘ったのか。17 年間続いた韓国最大のアダルトサイトと、それに立ち向かった女性達の活動と勝利を、架空の人物を通して描いたドキュメンタリー小説。

2021:6./ 381p

978-4-910276-00-7

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/08/28



ウディ・アレン追放

猿渡 由紀 著

文藝春秋

世界中に広がる#MeToo 運動で再燃したウディ・アレンの性的虐待疑惑。新作はお蔵入りし、ついに映画界を追われるまでの闘争劇へと発展する。在米 30 年の著者が、当事者にしか分からない謎に、当時の記録をもとに迫る。

2021:6./ 227p

978-4-16-391386-5

本体 ¥1,760〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/01



新・人間関係のルール(光文社新書 1136)

辛酸 なめ子 著

光文社

あいづち力の極意、洗脳系女子の威力、マスク・ストレス、人間にも使える宇宙人との交流術…。SNS の悩みからコロナで起きた変化まで、辛酸なめ子がコミュニケーションの体験や気づきを綴る。『本がすき。』連載を再編集。

2021:6./ 227p

978-4-334-04544-9

本体 ¥858〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/01



さよならテレビ～ドキュメンタリーを撮るとのこと～(平凡社新書 976)

阿武野 勝彦 著

平凡社

視聴率などの「数字」ばかりが跋扈する世界のなかで繰り返してきた悪戦苦闘。その末に辿り着いたテレビ発のドキュメンタリー全国上映の道。テレビ界の奇才が「未来の表現者」へ贈る、体験的ドキュメンタリー論。

2021:6./ 351p

978-4-582-85976-8

本体 ¥1,210〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/01



女の子だから、男の子だからをなくす本

ユン・ウンジュ 著

エトセトラブックス

女の子らしさって？ 男の子らしさって？ 女の子も男の子も、ステキな人になるために-。性別の枠組みから自由になり、これから必要なジェンダーの知識を紹介した絵本。

東京・中日新聞 2021/08/01

2021:3./ 53p

978-4-909910-11-0

本体 ¥2,200〔税込〕



薬を食う女たち

五所 純子 著

河出書房新社

覚醒剤や大麻、睡眠薬...女性ドラッグ中毒者たちを取材。トラウマと逸脱、カネとセックス、生きざまと死生観。現代を生きる女性たちの身に起こるさまざまな事柄、葛藤し抵抗する姿を丹念に描いた、ルポ+文学の金字塔。

東京・中日新聞 2021/08/08

2021:6./ 237p

978-4-309-22824-2

本体 ¥1,892〔税込〕



マオとミカド～日中関係史の中の「天皇」～

城山 英巳 著

白水社

日中関係史の中で、中国側指導者は日本をどう戦略的に利用したのか。1945 年の日本敗戦、49 年の共産党による新中国成立を挟み、毛沢東、鄧小平、?介石、天皇、日本の中国通外交官らによる相手への認識や行動を解明する。

東京・中日新聞 2021/08/08

2021:6./ 537p,62p

978-4-560-09798-4

本体 ¥3,080〔税込〕



室町は今日もハードボイルド～日本中世のアナーキーな世界～

清水 克行 著

新潮社

僧侶は武士を呪い殺し、農民は合戦を繰り広げ、浮気された妻は相手の女を襲撃-。中世の日本人は実は凶暴でアナーキーだった！自力救済、信仰等を主題に、中世人の衝撃的な逸話の数々を紹介。『小説新潮』連載を加筆・修正。

東京・中日新聞 2021/08/08、朝日新聞 2021/08/14

2021:6./ 253p

978-4-10-354161-5

本体 ¥1,540〔税込〕



国民義勇戦闘隊と学徒隊～隠蔽された「一億総特攻」～(朝日選書 1021)

斉藤利彦 著

朝日新聞出版

敗戦間際の 1945 年、本土決戦に備えて組織された「国民義勇戦闘隊」の動員が実行されようとしていた。新たに発掘された一次資料により、「国民皆兵」「一億総特攻」の全貌を明らかにする。

東京・中日新聞 2021/08/15

2021:6./ 244p

978-4-02-263108-4

本体 ¥1,650〔税込〕



「ことば」に殺される前に(河出新書 029)

高橋 源一郎 著

河出書房新社

<分断>された社会の<つながり>を回復するために-。即興連続ツイート「午前 0 時の小説ラジオ」をはじめ、『朝日新聞』の不定期連載「歩きながら、考える」、書き下ろし「「ことば」に殺される前に」などを収録。

東京・中日新聞 2021/08/15

2021:5./ 324p

978-4-309-63126-4

本体 ¥935〔税込〕





消費ミニマリズムの倫理と脱資本主義の精神(筑摩選書 0213)

橋本 努 著

筑摩書房

モノを買っても満たされず、富の不平等が深刻化し、環境破壊に直面する資本主義社会。ミニマリズムには「脱資本主義の精神」に通じる回路がある。「消費ミニマリズム」を多角的に検証し、その可能性を論じる。

2021:6./ 366p

978-4-480-01731-4

本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/15



アジアと共に「もうひとつの日本」へ

永井浩 著

社会評論社

「平和国家」日本の漂流、戦時体制への逆流、侵略戦争への新たな加担…。明治以来の日本の歪んだアジア認識・関係を抉り、市民的抵抗運動をねばり強く展開するアジアの民衆とともに「もうひとつの日本」への道をさぐる。

2021:7./ 295p

978-4-7845-1372-7

本体 ¥2,420〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/15



誰がメンズファッションをつくったのか?〜英国男性服飾史〜

ニック・コーン 著

DU BOOKS

ファッション革命を可能にした店主、店員、仕掛け人、デザイナー、ロックスターたち…。英国男性のファッションは、第2次世界大戦以降どう変化してきたか、そしてその変化の理由は何なのか、流行の変遷を詳述する。

2020:11./ 21p,339p

978-4-86647-129-7

本体 ¥3,080〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/21



サボる哲学〜労働の未来から逃散せよ〜(NHK 出版新書 658)

栗原 康 著

NHK出版

なぜ心身を消耗させながら、やりたくない仕事をし、生きるためのカネを稼ぐのか。「働かざるもの食うべからず」は本当に正しいのか。稀代のアナキスト文人が、資本主義下の労働倫理を解体し、そこから逃亡する道を拓く。

2021:7./ 286p

978-4-14-088658-8

本体 ¥1,023〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/22



流転の中將

奥山 景布子 著

PHP研究所

会津藩・松平容保の弟で、桑名藩主・松平定敬。兄と共に徳川家のために尽くそうとしたゆえに、越後、箱館、そして上海にまで流浪した男の、波瀾に満ちた人生と秘めたる想いを描いた書き下ろし長編小説。

2021:5./ 317p

978-4-569-84926-3

本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/22



外交交渉四〇年薙中三十二回顧録

薙中 三十二 著

ミネルヴァ書房

北米局課長時代に日米構造協定を担当し、アジア大洋州局長として六者会合の日本代表を務めた薙中三十二が、外交官として走り抜けた40年間を振り返る。交渉で国を、世界を動かしてきた「外交のプロ」のすべてを記した回顧録。

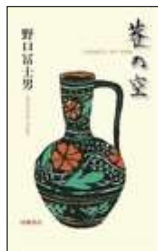
2021:7./ 16p,295p,5p

978-4-623-09210-9

本体 ¥3,080〔税込〕



東京・中日新聞 2021/08/22



巷の空

野口 富士男 著
田畑書店

江戸川橋近くの鰻屋で育ちながら、家業を嫌い靴職人になった伊之吉は、たび重なる浮き沈みに揉まれながらも生き抜いて行く。丹念な心理描写ときめ細かな筆致で、靴職人の半生と関東大震災前の東京を鮮やかに描いた長編小説。

東京・中日新聞 2021/08/22

2021:7./ 470p
978-4-8038-0385-3
本体 ¥2,530〔税込〕



父岸田劉生 愛蔵版

岸田 麗子 著
中央公論新社

<麗子像>で知られる娘が、画家・岸田劉生の生涯を愛情を込めて綴る。カラー口絵、単行本初収録の麗子による随筆 4 篇、画家・麗子の次女である岸田夏子による解説等を増補した愛蔵版。

東京・中日新聞 2021/08/28

2021:5./ 284p
978-4-12-005436-5
本体 ¥2,420〔税込〕



仁義なき戦い菅原文太伝

松田 美智子 著
新潮社

故郷に背を向け、盟友たちと別れ、約束された成功を拒んだ。「男が惚れる男」、菅原文太が生涯をかけ求めたものとは。膨大な資料と関係者の証言を重ね合わせて、スターの実像をよみがえらせる。『週刊新潮』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2021/08/29

2021:6./ 303p
978-4-10-306452-7
本体 ¥1,870〔税込〕



世阿弥最後の花

藤沢 周 著
河出書房新社

永享 6 年、幽玄の美で室町の世を瞠目させた 72 歳の世阿弥元清が、咎なくして佐渡へと流された。彼の地でどう生き、何を見つけたのか。最晩年に到達した至高の舞いと、秘められた「まことの花」の謎と真実に迫る物語。

東京・中日新聞 2021/08/29

2021:6./ 353p
978-4-309-02968-9
本体 ¥2,200〔税込〕



菌の声を聴け〜タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案〜

渡邊格・麻里子 著
ミシマ社

パンとビールの源泉をとことん探って見えた、モノ作りに欠かせないもの。それは地域で循環する環境と経済、そして技術と機械だった。菌に導かれ、原理主義的な息苦しさを脱し、未来への手ごたえをつかんだ記録。

東京・中日新聞 2021/08/29、読売新聞 2021/08/29

2021:5./ 255p
978-4-909394-51-4
本体 ¥1,980〔税込〕



宗棍

今野 敏 著
集英社

幕末、琉球王国が滅びゆく時代に、国王の武術指南役を務めた松村宗棍は、様々な出来事に直面しながら、本当の強さを追い求め…。琉球空手の礎を築いた男の生涯を描く。『琉球新報』連載を単行本化。

読売新聞 2021/08/01

2021:6./ 389p
978-4-08-771754-9
本体 ¥2,090〔税込〕





今読みたい太宰治私小説集(小学館文庫 た 39-1)

太宰 治 著

小学館

津軽での幼・少年期を描いた「思い出」、小説家としての再生と自身の結婚を綴った「富嶽百景」、故郷への思いを紡いだ「帰去来」、妻子を連れての帰省を描く「故郷」…。全5話を収録した、太宰治の私小説集。

2021:6./ 365p

978-4-09-407026-2

本体 ¥770〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



クイーンズ・ギャンビット(新潮文庫 テ-26-1)

ウォルター・テヴィス 著

新潮社

孤児院で育ちながらも、チェス界で頭角を現した少女ベス。安定剤やアルコールへの依存とも闘いながら、ついにソ連の大会で最強の敵に挑み…。天才チェス少女の孤高の挑戦を描く。Netflix の人気ドラマ原作を邦訳。

2021:7./ 502p,6p

978-4-10-240171-2

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



東京復興ならず～文化首都構想の挫折と戦後日本～(中公新書 2649)

吉見 俊哉 著

中央公論新社

戦後の東京には「文化」を軸とした、現在とは異なる復興の可能性があった。文化首都構想、東京計画 1960 など、さまざまな「幻の東京計画」をたどりながら、東京の失われた未来を構想しなおす。

2021:6./ 302p

978-4-12-102649-1

本体 ¥1,056〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



月白の道～戦争散文集～(中公文庫 ま 53-1)

丸山 豊 著

中央公論新社

1944年5月、最前線の北ビルマ・ミトキーナに送られた著者を待ち受けていたのは、守備隊の全滅、そして雲南を経てチェンマイに至る泥まみれの敗退行だった…。軍医詩人・丸山豊による戦争散文集。

2021:7./ 284p

978-4-12-207091-2

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



歴史のなかの地震・噴火～過去がしめす未来～

加納 靖之／杉森 玲子／榎原 雅治／佐竹 健治 著

東京大学出版会

東北地方の太平洋岸、南海トラフ、日本列島上の活断層、首都圏といった発生領域ごとに、歴史地震・火山噴火について地震学と歴史学双方の視点から詳しく説明。歴史地震研究そのものの歴史と今後の展望も述べる。

2021:3./ 7p,228p,13p

978-4-13-063716-9

本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



わたしを離さないで(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著

早川書房

優秀な介護人キャシー・H は「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘールシャムの親友トミーやルースも「提供者」だった。キャシーは施設での奇妙な日々思いをめぐらす。図画工作に力を入れた授業、毎週の健康診断、保護官と呼ばれる教師たちのごこちない態度……。彼女の回想はヘールシャムの残酷な真実を明かしていく。

2008:8./ 450p

978-4-15-120051-9

本体 ¥880〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



トッケイは七度鳴く

宮内見 著

日本橋出版

放送作家の誠太郎は、亡くなった祖父が戦時中のビルマで慰安婦の死に関与したと知る。真実を求め奔走するが、見えざる力で歴史の闇に飲み込まれ…。慰安婦と日本兵の心温まる恋愛ミステリー。Kindle 電子版を書籍化。

2021:4./ 378p

978-4-434-28810-4

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



逃亡者の社会学〜アメリカの都市に生きる黒人たち〜

アリス・ゴッフマン 著

亜紀書房

犯罪が日常化した暮らし、巨大な影響を及ぼす司法システム、一筋縄ではない人々の関わり…。フィラデルフィアの貧しい黒人居住地区に分け入り、警察に追われ続ける男性たちと、彼らを支える女性や家族のあり方を明らかにする。

2021:3./ 495p

978-4-7505-1638-7

本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



スパイスカレー新手法〜入れて煮るだけ! ハンズオフカレー入門〜

水野 仁輔 著

パイインターナショナル

何も触らずにおいしいスパイスカレーができあがる!? 材料をすべて鍋に入れ、ふたをして煮るだけの“ハンズオフカレー”の基本と応用を紹介。スパイスブレンドの新手法や、火加減、塩加減などのテクニックも解説する。

2021:5./ 175p

978-4-7562-5448-1

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



「ネオ・チャイナリスク」研究〜ヘゲモニーなき世界の支配構造〜

柯 隆 著

慶應義塾大学出版会

中国の国際社会でのなりふり構わぬ挙動に、世界はどう対峙するか。新旧体制が複雑に混在しつつも覇権奪取へと邁進する強国の実態を、中国人エコノミストが切れ味よく解説する。

2021:5./ 10p, 339p

978-4-7664-2747-9

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



万葉集の歌とことば～姿を知りうる最古の日本語を読む～

佐佐木隆 著
青土社

1300年前の人びとは、どのような言語を使っていたのか。「万葉集」の歌を一つずつ丁寧に読み解き、ただ素朴なだけでなく深く豊かな表現の世界と、人々の飾らぬ心とを浮き彫りにする。

2021:3./ 304p
978-4-7917-7366-4
本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



味な店～完全版～(MAGAZINE HOUSE MOOK POPEYE BOOKS)

平野紗季子 著
マガジンハウス

フラミンゴのいる店、実家みたいな店、メニューがひとつの店、店主がおそろしく怖い店。誰にも真似できない、あの味、この店…。東京の愛すべき飲食店を紹介する。『POPEYE』連載を書籍化。

2021:6./ 251p
978-4-8387-5480-9
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



占領下のトカラ～北緯三十度以南で生きる～

稲垣尚友／半田正夫 著
弦書房

太平洋戦争終結後、国境の島となったトカラ列島で、活路を見出そうとしていた島民・移住民らの世話役として生き抜いた帰還兵の証言を収録。物資調達のための密航船まで仕立てて生きねばならなかった知られざる戦後史を明かす。

2021:5./ 201p
978-4-86329-227-7
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



音楽の黙示録～クラシックとジャズの対話～

森本 恭正／南 博 著
アルテスパブリッシング

「NO」から始まる音楽論。ラディカルに、そしてロジカルに権威を切り裂く多能な作曲家と、言葉のインプロヴィゼーションで読む者を覚醒させる異才ピアニストが、音楽界の常識を問いなおす。

2021:7./ 316p
978-4-86559-238-2
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



関係人口の社会学～人口減少時代の地域再生～

田中輝美 著
大阪大学出版会

住む人が減ったら、地域は再生できないのか？ 関係人口を社会学の見地から定義し、その役割を論じた書。事例と新たな理論の枠組みによって関係人口を位置づけ直し、人口減少時代の地域再生の方向性を示す。

2021:4./ 385p
978-4-87259-729-5
本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/08/01



『失われた時を求めて』への招待(岩波新書 新赤版 1884)

吉川 一義 著
岩波書店

不世出の大長篇「失われた時を求めて」は、なにを、どのように語った作品なのか。同書の完訳を達成したプルースト研究の第一人者が全体の構成、特長、勘所を読み解き、作品の核心に迫る。魅惑の読書体験へといざなう一冊。

2021:6./
16p,237p,29p
978-4-00-431884-2
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/08/01、朝日新聞 2021/08/07



質問老いることはいいですか?(朝日文庫 お 27-8)

落合恵子 著
朝日新聞出版

丁寧にかつ果敢に暮らしを楽しみ、社会との間でできることを探しながら、心のおもむくままに生きるには? 柔らかく心深い 98 のエッセイと、山田洋次、谷川俊太郎ら人生の先輩 5 人との対談を収録。

2021:7./ 368p
978-4-02-264999-7
本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



ぼくは数式で宇宙の美しさを伝えたい(角川文庫 ハ 34-1)

クリスティン・バーネット 著
KADOKAWA

2歳で重度の自閉症と診断され、読み書きはおろか、自分で靴ひもを結べるようにすらならないだろうと言われた息子を、母は独力で育てると決意した。9歳で大学に入学した天才少年の母の、愛と勇気の物語。

2018:9./ 413p
978-4-04-107188-5
本体 ¥1,078〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



坊っちゃん(集英社文庫)

夏目漱石 著
集英社

読売新聞 2021/08/08

1991:2./ 221p
978-4-08-752007-1
本体 ¥286〔税込〕



大炊介始末 改版(新潮文庫)

山本 周五郎 著
新潮社

読売新聞 2021/08/08

2003:2./ 525p
978-4-10-113407-9
本体 ¥825〔税込〕



貧困旅行記 新版(新潮文庫)

つげ義春 著
新潮社

読売新聞 2021/08/08

1995:4./ 281p
978-4-10-132812-6
本体 ¥737〔税込〕



絶望名人カフカの人生論(新潮文庫 カ-1-11)

フランツ・カフカ 著
新潮社

「いちばんうまくできるのは、倒れたままでいることです」誰よりも落ち込み、誰よりも弱音をはき、誰よりも前に進もうとしなかった、ネガティブを代表する作家カフカの絶望の名言集。

2014:11./ 267p
978-4-10-207105-2
本体 ¥605〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



やってみよう!車中泊〜カラー版〜(中公新書ラクレ 730)

大橋 保之 著

中央公論新社

車の中に泊まるって、自分だけの秘密基地みたいでワクワクする! 快眠のための装備、便利アイテム、車中泊にオススメの場所やマナー、一步上の楽しみ方など、車中泊の魅力と快適に過ごすためのノウハウを紹介する。

2021:7./ 215p

978-4-12-150730-3

本体 ¥1,210〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



赤い死の舞踏会(中公文庫 ホ3-4)

エドガー・アラン・ポー 著

中央公論新社

疫病が蔓延する中、千人の友達と僧院に避難したプロスペロ公は仮装舞踏会を催した。そこへ現れたひとりの人物が、人々の間に狼狽と恐怖と嫌悪を呼び起こす。表題作ほか短篇小説全10篇と、「覚書(マルジナリア)」を収録。

2021:4./ 357p

978-4-12-207061-5

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



生命海流〜GALAPAGOS〜

福岡伸一 著

朝日出版社

「生命」「進化」とは何か。生物学者・福岡伸一がダーウィンの足跡をたどり、生命の本質に迫るガラパゴス航海記。絶海の孤島で繰り広げられる大自然の営みと進化の不思議を、ユーモア溢れる文章と美しい写真で描き出す。

2021:6./ 253p

978-4-255-01241-4

本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



神曲 完全版

ダンテ、平川 祐弘、ギュスターヴ・ドレ 著

河出書房新社

人生の道の半ばで正道を踏みはずした私が目をさました時は暗い森の中にいた?。地獄篇・煉獄篇・天国篇全3篇の新訳とともに、ドレによる美しい挿画全135点を収録。カラー口絵、詩篇付き。

2010:8./ 661p

978-4-309-20549-6

本体 ¥6,380〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



宮武外骨伝(河出文庫 よ1-1)

吉野 孝雄 著

河出書房新社

発布直後の明治憲法を揶揄し不敬罪で初入獄。120余に及ぶ雑誌や書籍を発行し、筆禍による入獄4回、罰金・発禁は29回! 明治大正昭和にわたり反骨反権力を貫いたジャーナリスト、宮武外骨の生涯を綴った伝記。

2012:3./ 405p

978-4-309-41135-4

本体 ¥1,045〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



貧民の帝都(河出文庫 し13-13)

塩見 鮮一郎 著

河出書房新社

維新後、帝都に出現した未曾有の貧民に対処した東京養育院。ときに侮蔑され、ときには「日本の福祉の柱」と評価されるこの施設はなんだったのか。その変遷と変質の意味を問い、ホームレスについて考察する。

2021:6./ 240p

978-4-309-41818-6

本体 ¥891〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



ボルヘス怪奇譚集(河出文庫 ホ 5-3)

ホルヘ・ルイス・ボルヘス、アドルフォ・ビオイ=カサーレス、柳瀬 尚紀 著
河出書房新社

渦巻く笑いと戦慄-中国の妖怪物語。アラビアンナイト。カフカやポオの掌篇。セイロンの人食い鬼伝説...。「迷宮の作家」ボルヘスが選り抜いた短くて途方もない話 92 篇を収録。

2018:4./ 185p
978-4-309-46469-5
本体 ¥913〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



ビールの自然誌

ロブ・デザール／イアン・タッターソル 著
勁草書房

ビールについて人類誕生前から現代社会まで、科学的解説とともに紹介した本。2 人の著者がある時は史料を読みこみ、ある時は世界中を旅して、古代の醸造法や人気のクラフトビールなどに迫る。面白くて意外な話が満載。

2020:1./ 5p,273p
978-4-326-75056-6
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



週末、森で(幻冬舎文庫 ま-10-7)

益田 ミリ 著
幻冬舎

ある日思い立って森の近くで暮らし始めた翻訳家の早川さんと、週末ごとに訪ねてくるマユミちゃんとせつちゃん。仲良し 3 人組がてくてく森を歩く...。働く女性に贈る、共感度 120% の 4 コマ漫画。カード付き。

2012:4./ 167p
978-4-344-41851-6
本体 ¥544〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



養生の思想

西平 直 著
春秋社

「養生」とはなにか。そこに培われた自らの身体と心をいたわる知恵とは。老荘・道教という淵源から、江戸期・貝原益軒の成就を語り、近代・公衆衛生との関係や、現代ホリスティック医学との親縁性をも示す、縦横無尽の養生考。

2021:4./ 5p,213p
978-4-393-31306-0
本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



となりの一休さん

伊野孝行 著
春陽堂書店

とんちの一休さんは、大酒のみで女好きの、とんでもない破戒僧だった? 木刀を振り回したり、職場放棄し居酒屋に入り浸ったり、77 歳で 50 歳下の彼女を作ったり...。破天荒な一面と、それだけではない素顔の一休さんに迫る。

2021:3./ 197p
978-4-394-90397-0
本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



富岡日記(ちくま文庫 わ 10-1)

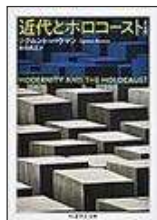
和田 英 著
筑摩書房

日本初の器械化された官営製糸場、富岡製糸場で伝習工女となり、その後長野で日本初の民営器械化製糸場の指導員となった女性を書いた日記。近代製糸場がわかる文化遺産と施設の案内付き。

2014:6./ 191p
978-4-480-43184-4
本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



近代とホロコースト 完全版(ちくま学芸文庫 ハ35-4)

ジグムント・バウマン 著

筑摩書房

近代文明こそ、ホロコーストの必要条件であった。アーレント、レヴィナスなど諸分野の先行研究を傍に、社会学の視点からホロコーストを現代社会の本質に深く根ざしたものと捉え、西欧思想界に衝撃を与えたバウマンの名著。

2021:4./ 497p

978-4-480-51021-1

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



リトルガールズ

錦見 映理子 著

筑摩書房

ヌードモデルになってほしいと迫られる中年教師、女友達への気持ちに戸惑う女子中学生、夫を好きになれない妻…。恋と人生の輝きを「理由のわからないパワフルさ」で描く。

2018:11./ 242p

978-4-480-80484-6

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



るきさん

高野 文子 著

筑摩書房

のんびりしていてマイペース。だけどどこかヘンテコな、るきさん。読めば読むほどクセになる彼女の日常生活をオールカラーで描く。番外編も収録。

2015:6./ 120p

978-4-480-88808-2

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



毎日かあさん<4> 出戻り編

西原 理恵子 著

毎日新聞出版

別れた夫・鴨ちゃんが帰ってきた！ 4人家族に戻った一家の、世界をマタにかけた大騒動。『毎日新聞』連載「毎日かあさん」と「毎日かあさん カンボジアだあ」に、鴨ちゃんとの輝く日々を描いた書き下ろしを加え単行本化。

2007:7./ 78p

978-4-620-77057-4

本体 ¥921〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



柳家さん喬一門本～世にも奇妙なお弟子たち～

さん喬と弟子たち／柳家さん喬／柳家喬太郎／柳亭左龍／柳家喬之助／柳家喬志郎／柳家小傳次／柳家さん助／柳家小平太／柳家小志ん／柳家?三郎／柳家さん花／柳家やなぎ／柳亭左ん坊／柳家小きち／ダーク広和 著

秀和システム

どんな想いを胸にして噺家の世界を選んだのか。なぜ柳家さん喬を師匠として選んだのか。落語という芸の世界へどんな憧れを描いて入ったのか。喬太郎、喬之助ら柳家さん喬一門の14人が綴る弟子入り志願物語。

2021:1./ 239p

978-4-7980-6328-7

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



旅の絵本<1>

安野光雅 著

福音館書店

中部ヨーロッパの自然や街並みを背景に、克明繊細な筆使いで旅の楽しさを描きだした絵ばかりの絵本。世界各国の子どもたちが喜んでいる、心おどる絵本です。

1986:1./ 1冊

978-4-8340-0539-4

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/08/08



こんこん狐に誘われて 田村隆一さんのこと

橋口 幸子 著

左右社

パジャマで歩きまわり、こんこん狐に誘われて酒を飲む。戦後最大の詩人、天才と呼ばれた田村隆一の家の間借りしていた著者が、彼の飾り気のない「もうひとつの素顔」をリカルな筆致で描き出す。

読売新聞 2021/08/08

2020.11./ 141p

978-4-86528-003-6

本体 ¥1,870〔税込〕



読書の日記〜本づくり/スーパとパン/重力の虹〜

阿久津隆 著

NUMABOOKS

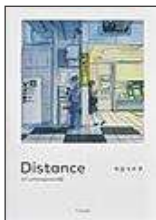
東京・初台の「本の読める店」<fuzkue(フヅクエ)>店主による日記第 2 弾。店のオフィシャルサイト上で書き綴った「読書日記」のうち、2017 年 10 月 1 日から 2018 年 5 月 9 日までを収録する。

読売新聞 2021/08/08

2020.3./ 664p,5p

978-4-909242-07-5

本体 ¥2,035〔税込〕



Distance〜わたしの#stayhome 日記〜

今日マチ子 著

rn press

漫画家・今日マチ子が鮮やかな色彩で紡いだ、2020 年 4 月から 1 年間のイラスト日記。緊急事態宣言以降、ソーシャルディスタンスが当たり前になっていく人々の様子、街の様子を丁寧に描く。Twitter 等掲載を再編集。

読売新聞 2021/08/08

2021.5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-910422-02-2

本体 ¥1,650〔税込〕



ミゲル・ストリート(岩波文庫 赤 820-1)

V.S. ナイポール 著

岩波書店

名前のないモノばかり作る大工、世界でいちばんすばらしい詩を書いている詩人。ストリートで、彼らなりの人生を懸命に生きている個性的な住人たちと、彼らに感受性豊かに反応しながら成長していく主人公を魅力的に描きだす。

読売新聞 2021/08/15

2019.4./ 361p

978-4-00-328201-4

本体 ¥1,012〔税込〕



ようこそ地獄、奇妙な地獄(朝日選書 1022)

星瑞穂 著

朝日新聞出版

仏教とともに地獄の存在を知って以降、常に地獄を身近に感じながら生きてきた日本人。「往生要集」「日本霊異記」「平家物語」といった古典文学や絵画をひもときながら、時代の空気の明暗や当時の世相、日本人の死生観を説く。

読売新聞 2021/08/15

2021.6./ 311p

978-4-02-263109-1

本体 ¥1,870〔税込〕



悪の五輪(講談社文庫 つ 33-2)

月村 了衛 著

講談社

1964 年、ヤクザの人見は東京オリンピック記録映画監督として中堅の錦田をねじ込み、興行界をのし上がろうとする。五輪組織委員会には、政財界の強者が名を連ね、莫大な利権に群がっていた。人見の企みの行方は...

読売新聞 2021/08/15

2021.7./ 310p

978-4-06-520038-4

本体 ¥748〔税込〕





家族だから愛したんじゃないで、愛したのが家族だった

岸田 奈美 著

小学館

車いすユーザーの母、知的障害のある弟、急逝した父。一生に一度しか起こらないような出来事が、なぜだか何度も起きてしまう著者が綴る、笑いと涙の自伝エッセイ。

読売新聞 2021/08/15

2020:9./ 221p

978-4-09-388778-6

本体 ¥1,430〔税込〕



辻政信の真実～失踪 60 年-伝説の作戦参謀の謎を追う～(小学館新書 401)

前田 啓介 著

小学館

奇襲「マレー作戦」の参謀・辻政信。戦後、ベストセラー「潜行三千里」を発表、さらに国政選挙でトップ当選を果たすが、東南アジアへ旅立った後に失踪した。残された親族、関係者に取材し、その知られざる実像に迫る本格評伝。

読売新聞 2021/08/15

2021:6./ 446p

978-4-09-825401-9

本体 ¥1,210〔税込〕



小島

小山田 浩子 著

新潮社

当たり前の風景、繰り返される日々の営み。それがたしかに世界をかすかに震わせる。さまざまな場所で出会う何気ない出来事をつぶさに描いた中短篇の他、広島カープと広島の人々の特別な関わりをテーマにした奇談連作も収録。

読売新聞 2021/08/15

2021:4./ 345p

978-4-10-333644-0

本体 ¥2,090〔税込〕



ボロ家の春秋(中公文庫 う37-2)

梅崎 春生 著

中央公論新社

軽妙な語り口で市井の人びとの日常をユーモラスに描いた梅崎春生。1955 年に直木賞を受賞した表題作ほか、「黒い花」「零子」など同賞の候補作全 4 篇と、小説をめぐる随筆を収めた作品集。

読売新聞 2021/08/15

2021:6./ 293p

978-4-12-207075-2

本体 ¥990〔税込〕



黒鳥の湖(祥伝社文庫 う6-4)

宇佐美まこと 著

祥伝社

不動産会社を営む財前は、妻と娘と幸せに暮らしていた。だが世間を騒がす女性拉致事件により、彼の心に不安が兆す。その快楽殺人者の手口に覚えがあった財前は、18 年前、ある罪を犯して...。WOWOW ドラマの原作。

読売新聞 2021/08/15

2021:7./ 467p

978-4-396-34738-3

本体 ¥924〔税込〕



場末のシネマパラダイス～本宮映画劇場～

田村 優子 著

筑摩書房

福島の田舎町にある、築 100 年を超える映画館「本宮映画劇場」は、日本で唯一、カーボン式映写機がいつでも稼働するところ。館主の父から聞いた話や劇場に残る映画にまつわる物を、娘である著者が紹介する。写真も多数収録。

読売新聞 2021/08/15

2021:6./ 159p 図版

8 枚

978-4-480-81857-7

本体 ¥1,980〔税込〕





蝶として死す〜平家物語推理抄〜(ミステリ・フロンティア 108)

羽生 飛鳥 著

東京創元社

平家の全盛期から源平の争乱へとなだれ込んでゆく時代に、推理力を武器に生き抜いた平頼盛の生涯を描く。第15回ミステリーズ!新人賞受賞「屍実盛」を含む連作集。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2021:4./ 283p

978-4-488-02012-5

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/15



誘拐(創元推理文庫 P 分署捜査班 M テ 19-2 [2])

マウリツィオ・デ・ジョバンニ 著

東京創元社

ピッツォファルコーネ署管内の美術館から10歳の少年が消えた。ロマーノとアラゴーナが捜査を進めるうち、事態は誘拐の様相を呈してくる。ロヤコーノ警部は空き巣事件を担当し、副署長が調べる自殺案件にも新展開が...

2021:5./ 352p

978-4-488-29605-6

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/08/15



中世武家政権と政治秩序 オンデマンド版

金子 拓 著

吉川弘文館

日本中世における律令的官位制秩序体系の有効性、そして贈与交換を柱とする礼の秩序の歴史的特質を探り、人間集団の秩序を形成する契機と、その秩序の機能を考察する研究。

2020:11./

5p,303p,14p

978-4-642-72769-3

本体 ¥12,650〔税込〕



読売新聞 2021/08/15



もうあかんわ日記

岸田 奈美 著

ライツ社

父は他界、弟はダウン症、母は車いすユーザーからのコロナ禍に生死をさまよう大手術。残された長女に「もうあかんわ」なラインナップが次々とおそいかかり...。noteに綴った泣けて笑える祈りの日々を書籍化。

2021:5./ 319p

978-4-909044-30-3

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/08/15



ブラック・チェンバー・ミュージック

阿部 和重 著

毎日新聞出版

1冊の映画雑誌を手に入れるという謎の「極秘任務」。40を前にキャリアを失った横口健二は、北朝鮮の女密使とともに、国家を揺るがす<禁断の事実>を追うことになり...。『毎日新聞』連載を加筆し単行本化。

2021:6./ 478p

978-4-620-10854-4

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/15、朝日新聞 2021/08/21



1995年のエアマックス(中公新書ラクレ 735)

小澤 匡行 著

中央公論新社

今や国境を越えて争奪戦が起こるスニーカー。その始まりとなったエアマックス95で世界はどう変わり、この先どうなるのか。現在のスニーカーブームを、ここまでの歴史と展望をもとに読み解く。

2021:7./ 317p

978-4-12-150735-8

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/08/15、日本経済新聞 2021/08/21



吾輩は猫である 改版(岩波文庫)

夏目 漱石／齊藤 恵子 著
岩波書店

猫を語り手として苦沙弥・迷亭ら太平の逸民たちに滑稽と諷刺を存分に演じさせ語らせたこの小説は『坊っちゃん』とあい通ずる特徴をもっている。それは溢れるような言語の湧出と歯切れのいい文体である。この豊かな小説言語の水脈を発見することで英文学者・漱石は小説家漱石となった。

1990:4./ 563p
978-4-00-310101-8
本体 ¥770〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



まるまるの秘(講談社文庫 さ 110-2)

西條 奈加 著
講談社

親子三代で営む菓子舗「南星屋」。繁盛の理由は、ここでしか買えない日本全国、銘菓の数々。でもこの一家、実はある秘密を抱えていて…。思わず?がおちる、読み味絶品の時代小説。

2017:6./ 378p
978-4-06-293687-3
本体 ¥792〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



琥珀の夢～小説鳥井信治郎～＜上＞(集英社文庫 い 35-9)

伊集院 静 著
集英社

大阪の両替商・鳥井忠兵衛の次男として誕生した信治郎。丁稚奉公に入った菓種問屋で、商人としてのいろはを叩き込まれ…。「やってみなはれ」の精神で日本の洋酒文化に命を捧げたサントリー創業者に迫る、熱き経済小説。

2020:6./ 379p
978-4-06-744121-5
本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



琥珀の夢～小説鳥井信治郎～＜下＞(集英社文庫 い 35-10)

伊集院 静 著
集英社

鳥井信治郎、20歳。鳥井商店を開業し、赤玉ポートワインをついに完成させる。だが、関東大震災が起き…。「やってみなはれ」の精神で日本の洋酒文化に命を捧げたサントリー創業者に迫る、熱き経済小説。

2020:6./ 405p
978-4-08-744122-2
本体 ¥880〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



九十歳。何がめでたい 増補版(小学館文庫 さ 38-1)

佐藤 愛子 著
小学館

人生いかに生きるか、なんて考えたこともない。その場その場で突進するのみ。九十歳を過ぎ、もはや満身創痍の小説家・佐藤愛子がしぼり出した怒りの書。エッセイ「大声という病」、富士真奈美との対談などを加えて文庫化。

2021:8./ 302p
978-4-09-406766-8
本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



赤毛のアン(新潮文庫)

モンゴメリ 著

新潮社

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた 2 人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく――。愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起す愉快的な事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織りこまれた永遠の名作。

2008:2./ 529p

978-4-10-211341-7

本体 ¥825〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



政界再編～離合集散の 30 年から何を学ぶか～(中公新書 2651)

山本 健太郎 著

中央公論新社

細川非自民連立政権の発足から新進党の興亡、民主党の政権交代と四分五裂、みんなの党や維新の第三極、一強多弱の現在まで。選挙のための大同団結の必要性和党内の路線対立の激化というジレンマを軸に、政界再編の歴史を辿る。

2021:7./ 5p,241p

978-4-12-102651-4

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



ロング・グッドバイ(ハヤカワ・ミステリ文庫)

レイモンド・チャンドラー、村上 春樹 著

早川書房

読売新聞 2021/08/22

2010:9./ 645p

978-4-15-070461-2

本体 ¥1,152〔税込〕



八百万の死にざま(ハヤカワ・ミステリ文庫)

ローレンス・ブロッコ、田口 俊樹 著

早川書房

読売新聞 2021/08/22

1988:10./ 503p

978-4-15-077451-6

本体 ¥1,144〔税込〕



センセイの鞆(文春文庫)

川上 弘美 著

文芸春秋

高校の先生と飲み屋で十数年ぶりに再会したツキコさん。七十代のセンセイとの淡き恋を描く、谷崎賞受賞のベストセラーの文庫化

2004:9./ 278p

978-4-16-763103-1

本体 ¥682〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



堤清二 罪と業～最後の「告白」～(文春文庫 こ46-1)

児玉 博 著

文芸春秋

この家族を支配したのは、愛か、狂気か。放埒の限りを尽くした父と、暴君と化した異母弟。セゾングループを率いた堤清二が、死の前に明かした堤一族の栄華と崩壊の悲劇。

2021:6./ 198p

978-4-16-791711-1

本体 ¥770〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



バレット博士の脳科学教室 7 1/2 章

リサ・フェルドマン・バレット 著

紀伊國屋書店出版部

新時代の脳科学入門書。これまでの脳の見かたを払拭し、<身体予算>という比喻で脳と身体の機能を解説しながら、脳の<予測>や、脳と社会の相互作用など、科学の最新トピックを歯切れよく語る。

2021:5./ 198p

978-4-314-01183-9

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



洗濯(クリーニング)屋三十次郎(光文社文庫 10-2)

野中ともそ 著

光文社

優秀な兄に代わり中島クリーニングの店長を継ぐことになった三十次郎と、先代の時から仕えてきた荷山長門。どこかかみ合わない 2 人のもとに、ナコという少女がケチャップの染みと祖父の遺灰がかかったブラウスを持ってきて...

2021:8./ 349p

978-4-334-79227-5

本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



中国共産党、その百年(筑摩選書 0214)

石川 禎浩 著

筑摩書房

結党 100 周年を迎える中国共産党は、いかにして超巨大政権党となったのか。わずか 30 年足らずで中華人民共和国を建国し、70 年以上にわたって国を統治してきた中国共産党の歩みを世界史的な展開を視野に収めつつ描く。

2021:6./ 376p

978-4-480-01733-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



銀河英雄伝説<1> 黎明篇(創元SF文庫)

田中 芳樹 著

東京創元社

読売新聞 2021/08/22

2007:2./ 376p

978-4-488-72501-3

本体 ¥880〔税込〕



あん(ポプラ文庫 1-2)

ドリアン助川 著

ポプラ社

千太郎のどら焼き店のバイト求人を見てやってきたのは、70 歳を過ぎた手の不自由な女性・吉井徳江だった。徳江のつくる「あん」のうまさに舌をまく千太郎は彼女を雇い、店は繁盛しはじめるのだが…。限りなく優しい魂の物語。

2015:4./ 259p

978-4-591-14489-3

本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



東京電力福島第一原発事故から 10 年の知見 復興する福島の科学と倫理

服部 美咲 著

丸善出版

専門家との対談やインタビューを通して、東京電力福島第一原発事故が福島の人々に与えた影響や人々が抱えてきた不安を明らかにする。原発事故後の状況やその影響に関する基礎的な知識も解説。『SYNODOS』掲載を書籍化。

2021:6./ 3p,177p

978-4-621-30626-0

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



転換期の日本考古学～1945?1965 文献解題～

坂詰 秀一 著

雄山閣

戦後から 1965 年までの考古学文献を総覧。日本考古学の転換期の実態を豊富な資料をもとに考察し、1945 年?1965 年に出版された日本考古学の主要文献を年次順に収めて解説する。発行年月日等のデータも掲載。

2021:7./ 16p,310p

978-4-639-02776-8

本体 ¥9,900〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



日本政治史講義～通史と対話～

御厨 貴／牧原 出 著

有斐閣

明治から令和まで、近代 150 年の日本政治の歩みをたどる通史。政治家、経営者、作家などさまざまな人びとの視点を取り込み、歴史の現場にも足を運びながら、日本政治の変動をダイナミックに描く。

2021:4./ 17p,550p

978-4-641-14937-3

本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



声をあげます(チョン・セランの本 03)

チョン・セラシ 著

亜紀書房

地球の滅亡、感染症、種の絶滅、大量消費…。解決の鍵は未来にある！文明社会の行きづまりを軽やかに描き出し、今を生きる女性たちにエールを送る、シリアスでポップな SF 短編全 8 編を収録。

2021:6./ 277p

978-4-7505-1698-1

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



中国共産党の歴史

高橋 伸夫 著

慶應義塾大学出版会

一党独裁を強化し、国際的影響力を強める中国共産党。壮大な理想とリアリズムの間で揺れ動いた毛沢東、鄧小平、習近平らの思想と行動と、彼らが引き起こした歴史的な事件を通じてその実像を解き明かす。

2021:7./ 3p,347p,29p

978-4-7664-2754-7

本体 ¥2,970〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



エスペラント～分断された世界を?ぐ Homaranismo～

大類 善啓 著

批評社

言語・宗教・民族・国家の違いを認め合うために、今こそエスペラントを！中国で闘う長谷川テル、清貧な理想主義者・伊東三郎、アナキスト・山鹿泰治…。個性豊かな日本のエスペランティストたちを紹介する。

2021:5./ 197p

978-4-8265-0723-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



ぐりとぐら(ぐりとぐらの絵本)

中川李枝子 著

福音館書店

美味しそうなかすてらに、誰もが息をのむベストセラー絵本！！ぐりとぐらは、いつでもいっしょ。ある日、ふたりは森の中でおおきなたまごを見つけました。

2007:4./ 27p

978-4-8340-0082-5

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



世界の美しい病院〜その歴史〜

石田 純郎 著
吉備人出版

1994 年から 2018 年にかけてヨーロッパや中東、アメリカ、アジアなど 23 カ国を訪問した医師が、取材した 88 の歴史的な病院施設を美しい写真とともに紹介。現在の病院の形態につながる医療施設の変遷をたどる。

2021:5./ 146p
978-4-86069-643-6
本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



大人も知らない?ふしぎ現象事典

「ふしぎ現象」研究会 編
マイクロマガジン社

テストの前の日になると部屋の掃除がしたくなる。本屋にいるとなぜかトイレに行きたくなる…。身の回りによくある現象や体の不思議な現象の名前を紹介。楽しいイラストや、ふしぎ現象コラムも掲載する。

2021:7./ 127p
978-4-86716-159-3
本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



戦後沖縄と復興の「異音」〜米軍占領下復興を求めた人々の生存と希望〜

謝花 直美 著
有志舎

米軍占領下の沖縄復興は、本土の復興とは全く違うものだった。過酷な沖縄戦を生き延びた人々が、復興の中でも多くのものを失い、それでもなお生きつないでいった姿を、生存と生活の場から描き出す。

2021:6./ 5p,271p
978-4-908672-49-1
本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/08/22



生きのびるための流域思考(ちくまプリマー新書 378)

岸 由二 著
筑摩書房

水土砂災害は、豪雨ではなく、「流域」という地形や生態系が引き起こす現象。流域の基本構造や水循環機能、鶴見川流域の総合治水などを紹介し、流域思考の治水や自然保護、持続的な未来づくりについて考える。

2021:7./ 230p
978-4-480-68405-9
本体 ¥946〔税込〕



読売新聞 2021/08/22、東京・中日新聞 2021/08/29



読む・打つ・書く〜読書・書評・執筆をめぐる理系研究者の日々〜

三中 信宏 著
東京大学出版会

理系研究者を生業としながら、数多の本を読み、さまざまなメディアで書評を打ち、いくつもの単著を出版してきた<みなか先生>。そのオリジナルな視点から、本とのつきあい方をレクチャーする。

2021:6./ 13p,349p
978-4-13-063376-5
本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/08/22、毎日新聞 2021/08/28



アブサロム、アブサロム!<上>(岩波文庫 赤版 32-323-6)

フォークナー 著
岩波書店

9 月の午後、藤の咲き乱れる古家で、喪服姿のローザが語り出す半世紀前の一族の悲劇。1833 年ミシシッピに忽然と現れたヘンリー・サトペンは、無一物から農場主ののし上がり、ローザの姉と結婚、二人の子を得る。そのサトペン一族はなぜ非業の死に滅びたのか?南部の男たちの血と南部の女たちの涙が綴る一大叙事詩。

2011:10./ 357p
978-4-00-323236-1
本体 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



究極の俳句(中公選書 118)

高柳 克弘 著
中央公論新社

俳人とは、疑りぶかい言葉の化学者。俳諧を芸術へと高めた芭蕉以降の数々の名句を味わいながら、その根底にはつねに、常識への批評精神にもとづく新しい価値の創造があったことを明らかにする。創見に満ちた俳句論。

2021:5./ 206p
978-4-12-110118-1
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



西暦一〇〇〇年グローバリゼーションの誕生

ヴァレリー・ハンセン 著
文藝春秋

西欧の大航海時代以前に、世界経済は既につながっていた! 考古学的知見や最新の学説も交えて西暦 1000 年の世界を再現。この年こそが、「グローバリゼーションのはじまり」であることを描き出す。

2021:5./ 389p
978-4-16-391370-4
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



教養としてのロック名曲ベスト 100(光文社新書 1146)

川崎大助 著
光文社

ある科学的根拠に基づいて導き出されたロックの名曲ベスト 100 を、周辺情報盛りだくさんで紹介する新感覚ガイド。「教養としてのロック名盤ベスト 100」の続編。光文社新書公式 note の連載を書籍化。

2021:7./ 281p
978-4-334-04554-8
本体 ¥946〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



ずばり東京(光文社文庫)

開高 健 著
光文社

読売新聞 2021/08/29

2007:9./ 430p
978-4-334-74309-3
本体 ¥836〔税込〕



流出した日本美術の至宝～なぜ国宝級の作品が海を渡ったのか～(筑摩選書 0159)

中野 明 著
筑摩書房

明治維新の混乱のなかで起きた日本美術の海外への大量流出。当時の記録を丹念に読み解き、外国人蒐集家と日本人の間で起きた美術品を巡る知られざるドラマの実態を明らかにするとともに、いまでも続く美術品流出の是非を問う。

2018:4./ 8p,299p,7p
978-4-480-01667-6
本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



沖縄語をさかのぼる

島袋 盛世 著
白水社

那覇と首里ほどの距離でも異なるほど、バリエーション豊かな沖縄のしまくとぅば。沖縄本島をはじめ、奄美から与那国までの一帯に広がる琉球諸語を見渡し、どのような歴史や変化を経て現在の姿になったのかを解き明かす。

2021:5./ 197p
978-4-560-08894-4
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



いやし〜<医療>時代小説傑作選〜 (PHP 文芸文庫 み 1-17)

細谷 正充 編

宮部 みゆき／朝井 まかて／あさの あつこ／和田 はつ子／知野 みさき 著

PHP研究所

口中医の桂助のもとに、姫君の虫歯治療の依頼が来る。医者嫌いの姫君のため、呉服屋に扮した桂助だったが、思わぬ事件に巻き込まれ…。『菊姫様奇譚』をはじめ、江戸の医師たちを描いた全5編を収録した短編集。

2021:8./ 330p

978-4-569-90144-2

本体 ¥869〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



仏教は宇宙を どう見たか〜アビダルマ仏教の科学的世界観〜 (DOJIN 文庫 001)

佐々木 閑 著

化学同人

仏教の思想を体系的にまとめた「アビダルマコーシャ」。その「仏教的世界観の客観的叙述」を考察し、釈迦が考えたこの世界のあり方を読み解く。現代科学に似ているようで全く異なる世界観を示し、仏教と科学の接点を考える書。

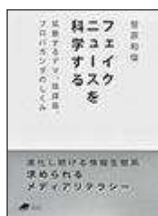
2021:7./ 246p

978-4-7598-2501-5

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



フェイクニュースを科学する〜拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ〜 (DOJIN 文庫 003)

笹原 和俊 著

化学同人

フェイクニュースはなぜ生まれ、どのようにして拡散し、われわれ人類の脅威となるのか。フェイクニュース現象を「情報生態系」の問題として捉え、その仕組みを平易な言葉で解説する。理解の手助けになるコラムも掲載。

2021:7./ 206p

978-4-7598-2503-9

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



まとまらない言葉を生きる

荒井 裕樹 著

柏書房

言葉が「降り積もる」とすれば、どんな言葉が降り積もった社会を次の世代に引き継ぎたいですか-。「言葉の壊れ」を考え、抗い、息苦しさをそっと弛めるエッセイ集。『WEB asta*』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:5./ 254p

978-4-7601-5349-7

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



ブランダム推論主義の哲学〜プラグマティズムの新展開〜

白川 晋太郎 著

青土社

独自の理論体系を構築し、プラグマティズムを牽引するアメリカの哲学者ロバート・ブランダム。言葉の意味は何で決まるか。言語と世界はどうつながっているのか。「推論主義」の基礎から応用までを網羅する、本格的入門書。

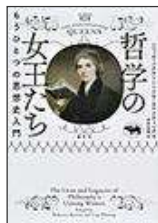
2021:5./ 339p,13p

978-4-7917-7379-4

本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



哲学の女王たち～もうひとつの思想史入門～

リサ・ホワイティング／レベッカ・バクストン 編

晶文社

男性の名前ばかりがずらりと並ぶ哲学の歴史。しかしその陰には、知的活動に一生をかけた数多くの有能な女性哲学者たちがいた。知の歴史に大きなインパクトを与えながらも、見落とされてきた 20 人の女性思想家たちを紹介する。

2021:5./ 249p

978-4-7949-7264-4

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/08/29



星の王子さま 新版(岩波少年文庫 1)

サン＝テグジュペリ 著

岩波書店

サハラ砂漠に不時着した飛行士と、ほんとうのことしか知りたがらない星の王子さまとのふれあいを描いた、永遠の名作。91 年刊に次ぐ新版。

2000:6./ 175p

978-4-00-114001-9

本体 ¥704〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



ブッダが説いた幸せな生き方(岩波新書 新赤版 1879)

今枝 由郎 著

岩波書店

ブッダは実際に何を考え、人々に何を教えたのか。仏教国ブータンで長年生活し、チベット仏教の薫陶を受けた著者が、60 年余におよぶ原典研究と思索から描く、ブッダのユマニズム的プラス思考の人生観。

2021:5./ 7p,243p

978-4-00-431879-8

本体 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



宮本武蔵<1>(吉川英治歴史時代文庫)

吉川 英治 著

講談社

野に伏す獣の野性をもって孤剣をみがいた武蔵が、剣の精進、魂の求道を通して、鏡のように澄明な境地へ達する道程を描く、畢生(ひつせい)の代表作。若い功名心に燃えて関ヶ原の合戦にのぞんだ武蔵(たけぞう)と又八は、敗軍の兵として落ちのびる途中、お甲・朱実母子の世話になる。それから 1 年、又八の母お杉と許嫁(いいなずけ)のお通が、2 人の安否を気づかっている作州宮本村へ、武蔵は 1 人で帰ってきた。

1989:11./ 409p

978-4-06-196514-0

本体 ¥768〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



スモールワールズ

一穂 ミチ 著

講談社

夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。向き合うことができなかった父と子…。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描く連作集。『小説現代』掲載を単行本化。

2021:4./ 299p

978-4-06-522269-0

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



華麗なる一族<上巻> 改版(新潮文庫)

山崎 豊子 著

新潮社

日本経済新聞 2021/08/07

2003:8./ 657p

978-4-10-110412-6

本体 ¥1,045〔税込〕





国盗り物語<1> 改版 斎藤道三(新潮文庫 前編)

司馬 遼太郎 著

新潮社

日本経済新聞 2021/08/07

2004:1./ 534p

978-4-10-115204-2

本体 ¥880〔税込〕



風と共に去りぬ<第1巻>(新潮文庫 ミ-4-1)

マーガレット・ミッチェル 著

新潮社

アメリカ南部の大農園<タラ>に生まれたスカーレット。若さと美しさを満喫し、激しい気性だが言い寄る男には事欠かない。だがアシュリが結婚すると聞いて自棄になり、別の男と結婚したのも束の間、南北戦争が勃発し...

2015:4./ 460p

978-4-10-209106-7

本体 ¥825〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



危機の指導者チャーチル(新潮選書) 317p 2011

富田 浩司 著

新潮社

ヒットラーの攻勢の前に、絶体絶命の危機に陥った斜陽の老大国イギリス。その時イギリス人が選んだ指導者は、孤高の老政治家チャーチルだった。彼の波乱万丈の生涯を追いながら、リーダーシップの本質に鋭く迫る。

2011:9./ 317p

978-4-10-603687-3

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



遅咲きの男

莫言 著

中央公論新社

民衆とともに生きる作家・莫言の 2012 年ノーベル文学賞受賞後初の短篇集。表題作ほか、「モーゼを待ちつつ」「地主の目つき」「松明と口笛」など、2011 年から 2020 年までに書かれた全 12 篇を収録する。

2021:6./ 491p

978-4-12-005444-0

本体 ¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



シリーズ「日本の開発協力史を問いなおす」<7> 開発協力のつくり方

佐藤 仁 著

東京大学出版会

戦後日本の歴史、知、国際実践を開発協力から照らしだす試み。7 は、開発協力が計画されて現場に何らかの影響を及ぼすまでのプロセスを、自立と依存の視角から掘り下げる。

2021:5./ 8p,334p

978-4-13-034326-8

本体 ¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



パンデミックの世紀～感染症はいかに「人類の脅威」になったのか～

マーク・ホニグスバウム 著

NHK出版

スペイン風邪、エイズ、SARS、エボラ出血熱、新型コロナウイルス感染症…。未知の病原体の発見と感染の急速な広がりが大規模な被害とパニックを引き起こす過程、それらに対する科学者たちの苦闘を克明に描く。

2021:5./ 542p

978-4-14-081856-5

本体 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



日英インテリジェンス戦史～チャーチルと太平洋戦争～(ハヤカワ文庫 NF 544)

小谷 賢 著

早川書房

チャーチル英首相は敵国の秘密情報を得ることに執念を燃やした。米国の協力により日本の外交暗号を突破し、極東情勢の急変を予見。米国の参戦によって英国は戦局を打開する。日英の情報戦の実態に迫る。

2019:8./ 268p

978-4-15-050544-8

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



賢い人がなぜ決断を誤るのか?～意思決定をゆがめるバイアスと戦う方法～

オリヴィエ・シボニー 著

日経BP社

無意識のうちに判断をねじ曲げる「バイアス」。失敗事例を通じて「認知バイアス」とは何かを解き明かすとともに、バイアスと戦う方法を、世界最先端の組織が実践している「40のテクニック」を中心にわかりやすく解説する。

2021:7./ 413p

978-4-296-00023-4

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



アフターデジタル～オフラインのない時代に生き残る～

藤井 保文、尾原 和啓 著

日経BP社

「デジタルトランスフォーメーション」は知っているが、「何をしたらよいのか分からない」と悩む人に向けて、世界潮流から見たデジタルトランスフォーメーションの方法論を提示する。中国をはじめとする各国の具体例も紹介。

2019:3./ 197p

978-4-296-10162-7

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



コロナとオリンピック～日本社会に残る課題～

石坂 友司 著

人文書院

コロナ禍の混乱を機にオリンピックと社会を変えることはできるのか。東京オリンピック延期決定以後の経緯を整理し、震災復興、女性差別など、浮かび上がった日本社会の問題を析出し、今後のオリンピックのあり方を検討する。

2021:7./ 222p

978-4-409-24143-1

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



経済はロックに学べ!

アラン・B・クルーガー 著

ダイヤモンド社

なぜ、人々を熱狂させるビジネスは、音楽から生まれるのか。「ロックを支える人的資本」「バンドマンの契約理論」「中国で進む音楽革命」などをテーマに、「ビジネスとマネー」の本質を明かす。

2021:6./ 440p

978-4-478-10271-8

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



生物に学ぶガラパゴス・イノベーション

稲垣 栄洋 著

東京書籍

ガラパゴス化は決してダメなことではない。ガラパゴス諸島の生き物たちの進化をひもときながら、ガラパゴスを強みに転換する「ガラパゴス・イノベーション」を説く。

2021:5./ 166p

978-4-487-81495-4

本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



流浪の月

風良 ゆう 著
東京創元社

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

2019:8./ 313p
978-4-488-02802-2
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



ネオ・ヒューマン～究極の自由を得る未来～

ピーター・スコット・モーガン 著
東洋経済新報社

運動ニューロン疾患でありながら、ただ「生き延びる」だけでなく「より良く」生きるために、人類初のフルサイボーグとなった著者。「人として生きること」の定義はどう変わるのか。AIと人類の関係を根本から問い直す。

2021:6./ 10p,464p
978-4-492-04690-6
本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



ハーベン～ハーバード大学法科大学院初の盲ろう女子学生の物語～

ハーベン・ギルマ 著
明石書店

ハーバード大学法科大学院を卒業した初の盲ろう者、ハーベン・ギルマ。現在は弁護士・講演家として、障害を持つ人が平等な機会を獲得するための活動を繰り広げるハーベンが、思い出せる限りのエピソードを正確に綴った回想録。

2021:5./ 357p
978-4-7503-5209-1
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



交わらないリズム～出会いとすれ違いの現象学～

村上靖彦 著
青土社

人間はリズムに貫かれている。現象学者が、長年医療や福祉の現場で教わったことを哲学の問いとして引き受け、リズムとメロディーという切り口から行為と出会いについて論じる。

2021:6./ 282p,11p
978-4-7917-7390-9
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



FACTFULNESS～10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣～

ハンス・ロスリング／オーラ・ロスリング／アンナ・ロスリング・ロンランド 著
日経BP社

賢い人ほどとらわれる 10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見るスキルが身につく。データや事実にもとづき、世界を正しく読み解く習慣「ファクトフルネス」を紹介する。見返しに「世界保健チャート」等あり。

2019:1./ 397p
978-4-8222-8960-7
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07



子育て罰～親子に冷たい日本～(光文社新書 1143)

末富芳、桜井啓太 著
光文社

子育てを自己責任とみなし、親子を苦しめる社会・政治の制度・慣行を「子育て罰」と定義。日本から「子育て罰」をなくし、親子にやさしい国にするための方策を論じる。

2021:7./ 290p
978-4-334-04551-7
本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07、朝日新聞 2021/08/21



俳句で学ぶ唯識入門～わが心の構造～

多川 俊映 著
春秋社

いのちあるものたちは皆、それぞれの世界を描いている。難解な心の哲学、仏教唯識の考えを、俳句や短歌などの日本の詩歌を通し、生きてあることの共感を込めて、明快に解き明かす。「唯識入門」の姉妹編。

2021:5./ 7p,229p
978-4-393-13448-1
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07、毎日新聞 2021/08/14



いっぱしの女 新版(ちくま文庫 ひ 8-2)

氷室 冴子 著
筑摩書房

セクハラという言葉が世間に登場し始めた頃、「いっぱし」の年齢=30 歳を越えた少女小説家・氷室冴子。女としてただ社会に在るだけで襲いかかる違和感を、まっすぐに鮮やかに描いた不朽のエッセイ。町田そのこの解説付き。

2021:7./ 209p
978-4-480-43755-6
本体 ¥770〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/07、毎日新聞 2021/08/14



評伝福田赳夫～戦後日本の繁栄と安定を求めて～

岩波書店

「平和大国」をめざした外交活動を展開、抜群の政策能力で経済危機を抑え込み、戦後社会を繁栄と安定へと導いた福田赳夫元総理。未公開の「福田メモ」や日記、外交文書などを活用し、その実像に迫った本格評伝。

2021:6./ 22p,680p
978-4-00-024544-9
本体 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



食べものから学ぶ世界史～人も自然も壊さない経済とは?～(岩波ジュニア新書 937)

平賀 緑 著
岩波書店

食べものから世界経済の歴史を学べば、人も自然も壊さない「経世済民」が見えてくる。すべての問題の根底にある資本主義のカラクリを、小麦粉や砂糖、油、トウモロコシ、豚肉などの食べものから解き明かす。

2021:7./ 13p,181p
978-4-00-500937-4
本体 ¥902〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



姉の島

村田喜代子 著
朝日新聞出版

85 歳超えの退役海女たちは、後進の若者のために潜った海の家図作成に余念がない。天皇海山列、春の七草海山、海底につきささる潜水艦…。老女と潜水艦の異色冒険小説。『小説トリッパー』連載を改題、加筆修正し単行本化。

2021:6./ 242p
978-4-02-251762-3
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



ポジティブことば選び辞典(大人のことば選び辞典)

学研辞典編集部 編
学研プラス

否定的にとらえられうることばを、肯定的になるよう言い換えるのに使える表現を厳選し収録した辞典。使用場面をイメージできるよう見出し語ごとにイラストを掲載し、意味や用例、使い方、注意事項などを解説する。

2021:6./ 19p,171p
978-4-05-305312-1
本体 ¥1,408〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



精読アレント『全体主義の起源』(講談社選書メチエ 604)

牧野 雅彦 著

講談社

ハンナ・アレントの主著である、1951年の「全体主義の起源」。邦訳書が基づくドイツ語版(1955年)のみならず、英語で書かれた初版テキストまで遡り、その異同を含めて精緻に読解。全貌を明らかにする。

2015:8./ 286p

978-4-06-258607-8

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



復興期の精神(講談社文芸文庫)

花田 清輝 著

講談社

ルネッサンスを生きたダンテ、ダ・ヴィンチら 22 人の生の軌跡を追求、滅亡に向かう文明の復活の秘密を探る。大胆なレトリックと苛烈な批判精神が横溢する名著！ 戦時下執筆の比類なき抵抗の書にして代表作！ ルネッサンスを生きたダンテ、ダ・ヴィンチら 22 人の生の軌跡を追求、滅亡に向かう文明の復活の秘密を探る。大胆なレトリックと苛烈な批判精神が横溢する名著！

2008:5./ 285p

978-4-06-290013-3

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



世界の神話入門(講談社学術文庫 2674)

呉 茂一 著

講談社

ゼウス、アポロン、女神イシュタル、天照大神…。西洋古典学の第一人者が世界の神話の成立や共通点を、ギリシア神話を中心にやさしく紹介する。神話にまつわる西洋絵画など図版 60 点を追加。

2021:7./ 235p

978-4-06-524255-1

本体 ¥1,056〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



他者の靴を履く〜アナーキック・エンパシーのすすめ〜

ブレイディ みかこ 著

文藝春秋

意見の異なる相手を理解する知的能力「エンパシー」をめぐる思索の旅。“負債道徳”からジェンダーロールまで、現代社会の様々な思い込みを解き放つ。『文学界』連載を単行本化。

2021:6./ 302p

978-4-16-391392-6

本体 ¥1,595〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



入門フリーメイスン全史〜偏見と真実〜(文芸社文庫 か 7-1)

片桐 三郎 著

文芸社

秘密結社の代名詞のように語り継がれてきた「フリーメイスン」に関する百科全書的な入門書。その発祥起源からはじまり、英国、欧州大陸、新世界アメリカ、そしてわが国における“偏見と真実”の歴史を明らかにする。

2020:10./ 298p

978-4-286-22116-8

本体 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



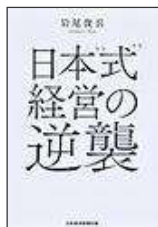
「日本型格差社会」からの脱却(光文社新書 1142)

岩田規久男 著
光文社

日本の格差は、戦後は日本しか経験していない長期デフレを原因とすることから他国とは様子が異なる。その特徴的な格差を縮小し成長を取り戻すにはどうすればよいのか。日銀副総裁を務めた著者が具体的な政策とともに提言する。

日本経済新聞 2021/08/14

2021:7./ 363p
978-4-334-04550-0
本体 ¥1,078〔税込〕



日本“式”経営の逆襲

岩尾 俊兵 著
日本経済新聞出版社

経営手法とその手法を生み出す知の体系、経営技術。日本の経営技術は優れているのに、どうして「アメリカはすごい!」となってしまうのか。日本に蔓延する根拠のない自信喪失感を払拭し、日本の経営技術の強みを明らかにする。

日本経済新聞 2021/08/14

2021:6./ 263p
978-4-532-32410-0
本体 ¥1,980〔税込〕



資本主義だけ残った～世界を制するシステムの未来～

ブランコ・ミラノヴィッチ 著
みすず書房

21世紀のグローバル化した資本主義の特徴が、格差と腐敗の拡大にあることを喝破。また、その拡大のメカニズムを、米国に代表されるリベラル能力資本主義と、中国に代表される政治的資本主義の2つの体制ごとに解き明かす。

日本経済新聞 2021/08/14

2021:6./ 289p,49p
978-4-622-09003-8
本体 ¥3,960〔税込〕



テキーラとメスカル～同じ起源をもつアガベ・スピリッツ～

サラ・ボーウェン 著
ミネルヴァ書房

メキシコにはアガベと呼ばれるリュウゼツランからつくられたテキーラとメスカルという蒸留酒がある。同じ起源をもつふたつの酒について、生産現場から消費地までをつぶさに踏査し、名酒生産がはらむポリティクスを読み解く。

日本経済新聞 2021/08/14

2021:6./ 5p,322p,32p
978-4-623-09110-2
本体 ¥3,850〔税込〕



タクティカル・アーバンイズム～小さなアクションから都市を大きく変える～

泉山 晃威/田村 康一郎/矢野 拓洋 著
学芸出版社

個人が都市を変えるアクションを起こす時、何から始めればよいのか。小さなアクションが拡散し、制度を変え、手法として普及し、社会に定着するアプローチを、アメリカと日本の都市の実践を紹介しながら、具体的に解説する。

日本経済新聞 2021/08/14

2021:6./ 254p
978-4-7615-2769-3
本体 ¥2,970〔税込〕



よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑

大野 萌子 著
サンマーク出版

ポジティブなコミュニケーションのコツが身につくと、好感、好印象を与えるようになって、信頼関係を築けるようになる。「よけいなひと言」を「好かれるセリフ」に言い換えるパターンを141例紹介する。

日本経済新聞 2021/08/14

2020:8./ 318p
978-4-7631-3801-9
本体 ¥1,540〔税込〕





人は話し方が9割～1分で人を動かし、100%好かれる話し方のコツ～

永松 茂久 著
すばる舎

話し方をちょっと変えるだけで、仕事もプライベートも大きく好転する! 「あなた」を多用して自分のファンを作る、肩書き・立場によって話し方を変えないなど、楽しく会話できる「とっておきの秘訣」を紹介する。

2019:9./ 238p
978-4-7991-0842-0
本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



誰もが知りたい Q アノンの正体～みんな大好き陰謀論 2～

内藤陽介 著
ビジネス社

なぜ、いつも陰謀論が流行るのか? 「みんな大好き陰謀論」でユダヤ陰謀論を徹底的に解明した著者が、現代社会で隠然たる影響力を持つ Q アノンを取り上げ、その陰謀論の謎の真実に迫る。

2021:5./ 251p
978-4-8284-2273-2
本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



まちの植物のせかい～そんなふう生きていたのね～

鈴木 純 著
雷鳥社

美しく奇妙で驚きの形、多種多様な受粉方法…。植物観察家が、まちの植物にずんずん近づいて、個性的な見た目や生き方などを、豊富な写真と一緒に観察しているように紹介します。Q&A、おすすめ本も収録。

2019:9./ 238p
978-4-8441-3759-7
本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



種から種へ命つながるお野菜の一生

鈴木純 著
雷鳥社

普段目になっている野菜の姿は、どれも命の途中のほんのひとコマ。ごま、とうもろこし、きゅうり、ミニトマト、ブロッコリーなど、さまざまな野菜の一生を追った、6 年間の記録。詳細な成長過程をカラー写真で紹介する。

2021:6./ 303p
978-4-8441-3776-4
本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



一生使えるポジティブ言い換え言葉～好感度も運氣もあがる魔法の言葉選び～

えらせん 著
ワニブックス

少しとらえ方を変えれば、悲しい出来事もラッキーに、短所も長所に。ポジティブになれる言い換え言葉を紹介し、言い換え言葉が特に効果的な「願ひする」「注意する・叱る」などの4つのシーンについて解説します。

2021:7./ 190p
978-4-8470-7079-2
本体 ¥1,485〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



<定本>シオンの議定書

四王天 延孝、天童 竺丸 著
成甲書房

国家財政の破綻、通貨危機、資源戦争…。21 世紀の歴史は「シオンの議定書」の通りに進行している! 四王天延孝「猶太思想及運動」に収められた「附録第三シオンの議定書」の表記を現代風に改めて紹介。解説も掲載。

2012:3./ 189p
978-4-88086-287-3
本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/14



開かれたパンドラの箱～老化・寿命研究の最前線～

今井眞一郎 著

朝日新聞出版

老化・寿命のメカニズムはどこまで解明されたのか。NMNをはじめ、世界で開発が進む抗老化法はどこまで検証されてきたのか。世界で研究を牽引する著者が実証的に記す。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:7./ 284p

978-4-02-251686-2

本体 ¥2,200〔税込〕



ターシャの庭

ターシャ・テューダー 著

KADOKAWA

絵本作家ターシャ・テューダーの「庭の写真」決定版。30万坪の敷地に咲き乱れる花々、ハーブガーデン、野菜畑、ヤギの放牧場、カヌーで移動する広い池、大木に覆われた森、3000坪のワイルドフラワーガーデンなどを収録。

日本経済新聞 2021/08/21

2005:6./ 143p

978-4-04-067045-4

本体 ¥3,080〔税込〕



生きていることを楽しんで(中経の文庫 L45)

ターシャ・テューダー 著

KADOKAWA

スローライフの元祖として知られ、世界中のガーデナーが憧れる絵本画家ターシャ・テューダー。4人の子どもを抱えながらも、夢に生き、確固とした自分の価値観を築いてきた彼女が守り通した「ルール」をあますところなく紹介。

日本経済新聞 2021/08/21

2016:9./ 166p

978-4-04-601714-7

本体 ¥748〔税込〕



スティーブ・ジョブズ<1>(講談社+α文庫 G260-1)

ウォルター・アイザックソン 著

講談社

未来を創った、今世紀を代表する経営者スティーブ・ジョブズが、積極的かつ全面的に取材に協力した評伝。1は子ども時代、リード・カレッジ進学、インド放浪、アップル誕生、マックの開発力などについて記す。

日本経済新聞 2021/08/21

2015:9./ 570p

978-4-06-281614-4

本体 ¥935〔税込〕



スティーブ・ジョブズ<2>(講談社+α文庫 G260-2)

ウォルター・アイザックソン 著

講談社

未来を創った、今世紀を代表する経営者スティーブ・ジョブズが、積極的かつ全面的に取材に協力した評伝。2はアップルへの再臨、iPhoneやiPadの発表、家族の絆、ビル・ゲイツとの最後の対面などについて記す。

日本経済新聞 2021/08/21

2015:9./ 561p

978-4-06-281615-1

本体 ¥935〔税込〕



活劇映画と家族(講談社現代新書 2626)

筒井 康隆 著

講談社

母親に支配される凶悪なギャングの親分、家族の生活を助けるため自ら悪の世界に踏み込む男…。小説界の巨人が名作映画の魅力と家族の「悪」、疑似家族の絆などを絶妙な筆致で描き、「家族とは何か」を問う。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:7./ 163p

978-4-06-524550-7

本体 ¥924〔税込〕





古代日本の官僚～天皇に仕えた怠惰な面々～(中公新書 2636)

虎尾 達哉 著

中央公論新社

朝廷の重要な儀式すら無断欠席し、日常の職務をしばしば放棄した下級官僚。なぜ政府は寛大な措置に徹したのか。飛鳥・奈良時代から平安時代にかけて、下級官僚たちの勤務実態を検証し、古代国家の知られざる実像に迫る。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:3./ 5p,234p

978-4-12-102636-1

本体 ¥924〔税込〕



藤原仲麻呂～古代王権を動かした異能の政治家～(中公新書 2648)

仁藤 敦史 著

中央公論新社

古代王権が安定した奈良時代に現れた異能の権力者・藤原仲麻呂。表面的な官歴や政策、事件史だけでなく、その政治的理念にまで立ち入り、皇位篡奪をも目論んだ生涯について、近年の研究を踏まえ新たな観点から記述する。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:6./ 4p,258p

978-4-12-102648-4

本体 ¥946〔税込〕



ストックホルムの旭日～文明としてのオリンピックと明治日本～(中公選書 119)

牛村 圭 著

中央公論新社

明治日本は陸上競技という文明をどう受容したのか。漱石「三四郎」や嘉納治五郎の欧米視察記、陸上競技の画期的指導書や写真を精読し、国と国とが同じルールで競い合う近代五輪にふたりの若きアスリートが参加するまでを追う。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:7./ 374p

978-4-12-110119-8

本体 ¥2,200〔税込〕



Advanced Style～ニューヨークで見つけた上級者のおしゃれスナップ～

アリ・セス・コーエン、岡野 ひろか 著

大和書房

いつも恋をして年齢を気にせずにいればいいのよ。すべては気持ち次第なんだから。若々しい心とスピリットを持ち、個々のスタイルと創造力で自己表現している 60 歳以上の女性たちのおしゃれスナップをコメントとともに収録。

日本経済新聞 2021/08/21

2013:3./ 238p

978-4-479-92058-8

本体 ¥2,750〔税込〕



古代史講義～邪馬台国から平安時代まで～(ちくま新書 1300)

佐藤 信 編

筑摩書房

大化の改新は 645 年のクーデタではない、東北の城?は行政官庁だった…。古代史の最新の研究成果と研究動向をわかりやすく解説し、かつての教科書で書かれていたために広まっている誤解などを正す。

日本経済新聞 2021/08/21

2018:1./ 286p

978-4-480-07117-0

本体 ¥968〔税込〕



女帝の古代王権史(ちくま新書 1555)

義江 明子 著

筑摩書房

古代天皇継承は、男系にも女系の双方を含む「双系」的なものだった。卑弥呼、推古、持統らに焦点を当て、古代王権史の流れを一望。日本人の女帝像、ひいては男系の万世一系という天皇像を書き換える。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:3./ 252p

978-4-480-07381-5

本体 ¥924〔税込〕





持統天皇と男系継承の起源～古代王朝の謎を解く～(ちくま新書 1570)

武澤 秀一 著

筑摩書房

古代の大王・天皇には男性と女性、男系と女系が入りまじっていた。それが男系ばかりになったのはなぜか? <持統王朝>という問題提起をおこない、その誕生から途絶に至る過程を探求。古代王朝の謎を解き明かす。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:5./ 298p

978-4-480-07398-3

本体 ¥1,012〔税込〕



監視資本主義～人類の未来を賭けた闘い～

ショシャナ・ズボフ 著

東洋経済新報社

人間の経験を、密かな抽出・予測・販売からなる商業的慣行のための無料の原材料として要求する新たな経済秩序、監視資本主義。ハーバード・ビジネススクール名誉教授が、監視資本主義の起源や発展などについて解説する。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:6./

12p,606p,148p

978-4-492-50331-7

本体 ¥6,160〔税込〕



知徳国家のリーダーシップ

北岡 伸一／野中 郁次郎 著

日本経済新聞出版社

リーダーシップとは、責任を取ることである。明治維新から現代までの8人の政治、経済のリーダーを取り上げ、それぞれが責任を取るために、どのように考え、行動したかを、北岡伸一と野中郁次郎が対談形式で語る。

日本経済新聞 2021/08/21

2021:6./ 333p

978-4-532-32406-3

本体 ¥2,200〔税込〕



人生心得帖

松下幸之助 著

PHP研究所

人生における成功とは、自らに与えられた天分を生かしきることだと著者は言う。その天分をいかにして見出し、発揮させるか。人生の知恵と指針が詰まった一冊。

日本経済新聞 2021/08/21

1984:9./ 110p

978-4-569-53411-4

本体 ¥1,287〔税込〕



商売心得帖(PHP文庫)

松下幸之助 著

PHP研究所

商売は朝に発意、昼に実行、夕べに反省の繰り返し。事業一筋半世紀、その豊富な体験と深い思索から説く商売のコツとは。ビジネスの基本と本質がつまった一冊。

日本経済新聞 2021/08/21

2001:5./ 204p

978-4-569-57557-5

本体 ¥523〔税込〕



経営心得帖(PHP文庫)

松下幸之助 著

PHP研究所

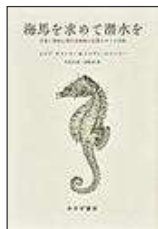
日本経済新聞 2021/08/21

2001:5./ 208p

978-4-569-57558-2

本体 ¥523〔税込〕





海馬を求めて潜水を～作家と神経心理学者姉妹の記憶をめぐる冒険～

ヒルデ・オストビー／イルヴァ・オストビー 著

みすず書房

人はなぜ思い出を持つのか？ 記憶研究の歴史を紐解き、実験を再現し、記憶のエキスパートの門を叩き、生きることと記憶のよき関係を探る。作家と神経心理学者のノルウェー人姉妹による、記憶の不思議をめぐる旅への誘い。

2021:6./ 298p,11p

978-4-622-09015-1

本体 ¥3,740〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/21



誰のためのテレワーク?～近未来社会の働き方と法～

大内 伸哉 著

明石書店

デジタルトランスフォーメーション(DX)により、会社のあり方も労働者の働き方も大変革の渦中にある。テレワークや近未来の働き方を、法の視点を交えて問い直す。『Webあかし』連載に加筆修正し書籍化。

2021:5./ 249p

978-4-7503-5203-9

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/21



国語辞典を食べ歩く

サンキュータツオ 著

女子栄養大学出版部

国語辞典は各出版社ごとに編集理念があり、それが細部にまで反映された記述が多い。学者芸人のサンキュータツオが、代表的な国語辞典の中から食べ物に関する言葉をとり上げ、その語釈の違いを比較・吟味する。

2021:7./ 334p

978-4-7895-5460-2

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/21



小売の未来～新しい時代を生き残る 10 の「リテールタイプと消費者の問いかけ」～

ダグ・スティーブンス 著

プレジデント社

リアル店舗は、感動する体験を提供せよ。さまざまなグローバルブランドの戦略策定に関わった世界的な小売コンサルタントが、これから生き残る 10 の小売の型「リテールタイプ」を提示する。

2021:6./ 400p,20p

978-4-8334-2415-8

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/21



料理と科学の楽しい出会い～分子調理が食の常識を変える～(DOJIN 文庫 002)

石川 伸一 著

化学同人

新しい料理を創造する、分子調理の美味なる世界を案内。料理と科学の出会いの歴史、おいしさを感じる人間の能力やおいしい料理の成分といった料理と科学の親密な関係をひもとき、現実の料理を超えた「超料理」を考える。

2021:7./ 246p

978-4-7598-2502-2

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/21、読売新聞 2021/08/29



人間臨終図巻<上>(角川文庫 や 3-129)

山田 風太郎 著

KADOKAWA

独特の死生観を描いてきた作家・山田風太郎が、不慮の死、病死、自殺、大往生など、歴史上の著名人のあらゆる臨終の様子を綴り、死者の人生までも浮き彫りにする。上は、10代?55歳で亡くなった324名を収録。

2014:1./ 510p

978-4-04-101129-4

本体 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



人間臨終図巻<下>(角川文庫 や 3-131)

山田 風太郎 著

KADOKAWA

独特の死生観を描いてきた作家・山田風太郎が、不慮の死、刑死、病死、自殺、大往生など、歴史上の著名人のあらゆる臨終の様子を綴り、死者の人生までも浮き彫りにする。下は、73歳?100歳代で亡くなった292名を収録。

2014:1./ 514p

978-4-04-101130-0

本体 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



リトル・バイ・リトル(角川文庫 し 36-7)

島本 理生 著

KADOKAWA

母、異父妹と3人で暮らすふみ。静かで平穏で、一見何の変哲もない生活だが、家族の複雑な過去がそこに時折暗い影を落とす。家族を軸にした人々とのふれあいのなかで、ふみは少しずつ、光の射す外の世界へと踏み出してゆき...

2018:5./ 169p

978-4-04-106750-5

本体 ¥572〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



戦中派不戦日記(角川文庫)

山田 風太郎 著

角川書店

激動の昭和20年を、当時満23歳だった医学生・山田誠也(風太郎)がありのままに記録した日記文学の最高峰。いかんにして「戦中派」の思想は生まれたのか?作品に通底する人間観の形成がうかがえる貴重な一作。

2010:10./ 603p

978-4-04-135658-6

本体 ¥1,056〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



あなたの愛人の名前は

島本 理生 著

集英社

今、この瞬間に深く、深く、理解されていればいい。たとえ恋じゃなくても。“私たちは恋人”かどうかをめぐってすれ違う男女をそれぞれの視点から描いた2篇など、全6篇を収録する。『小説すばる』掲載を加筆・修正。

2018:12./ 220p

978-4-08-771171-4

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



海市(P+D BOOKS)

福永 武彦 著

小学館

妻子ある画家・渋太吉は、伊豆の海村で蜃気楼のように現れた若き女性・安見子との道ならぬ恋に溺れていく。やがて、安見子は親友の妻であることが判明するが、彼女への思慕は変わらず、肉体関係を続けていき...

2016:6./ 512p

978-4-09-352269-4

本体 ¥715〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



2020年の恋人たち

島本 理生 著

中央公論新社

亡くなった母のワインバーを引き継ぐかどうか、選択を迫られる葵。恋人の港、常連客だった幸村、試飲会で知り合った瀬名...めまぐるしく変化する日常と関係性のなかで、葵の心は揺れ動き...『婦人公論』連載を加筆し単行本化。

2020:11./ 292p

978-4-12-005279-8

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



歌舞伎役者・市川雷蔵～のりくらりと生きて～

大島 幸久 著
中央公論新社

1964 年正月、市川雷蔵は 10 年ぶりに歌舞伎の舞台に立った。なぜ彼は歌舞伎から離れたのか？歌舞伎に戻りたかったのか？早世した映画スターの素顔に隠された「7 つの謎」に迫る。

2021:8./ 208p
978-4-12-005457-0
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



米中対立～アメリカの戦略転換と分断される世界～(中公新書 2650)

佐橋 亮 著
中央公論新社

貿易戦争、科学技術開発競争、香港・台湾問題…。米国の対中姿勢は関与・支援から対立へとなぜ一変したのか。国交回復から現在まで、50 年にわたる米中関係をたどり、米国の戦略が根本的に転換された背景を解説する。

2021:7./ 8p,308p
978-4-12-102650-7
本体 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



小さきもののオーケストラ

チゴズィエ・オビオマ 著
早川書房

わたしの宿り主、チノンソ。ナイジェリアで養鶏を営む彼は、橋から飛び降りようとしていた女性ンダリを助けた。ふたりは恋に落ちるが…。数百年にわたり人間に宿り続けてきた守り神<チ>が天界の法廷で語る、数奇な愛の物語。

2021:7./ 575p
978-4-15-210035-1
本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



星のように離れて雨のように散った

島本 理生 著
文藝春秋

幼い頃に失踪した父、書きかけの小説、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」。大学院生の春は、父との記憶を掘り起こすうちに、現在の自分の心の形が浮き彫りになっていき…。「私」をめぐる旅の物語。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

2021:7./ 229p
978-4-16-391401-5
本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



ロスト欲望社会～消費社会の倫理と文化はどこへ向かうのか～

橋本 努 編
勁草書房

「欲望なき時代」の日本社会が生み出したユニークな消費スタイルとは。戦後日本の消費文化を振り返りながら、現代の消費社会を論じるための「思考の枠組み」を示し、衰退する日本の消費社会の今後を展望する。

2021:6./ 264p,7p
978-4-326-60338-1
本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



英語の思考法～話すための文法・文化レッスン～(ちくま新書 1583)

井上 逸兵 著
筑摩書房

日本語にはない英語コミュニケーション独特の「考え方」を理解すれば、自然な英語が話せるようになる!「独立」「つながり」「対等」をキーワードに、様々なシチュエーションでの会話やマナーを豊富な具体例とともに解説。

2021:7./ 265p
978-4-480-07410-2
本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



見知らぬ人(創元推理文庫 Mク 28-1)

エリー・グリフィス 著

東京創元社

タルガース校の旧館は、かつて伝説的作家ホルランドの邸宅だった。クレアは同校の教師をしながらホルランドの研究をしているが、ある日、親友である同僚が殺害される。遺体のそばにはホルランドの短編の文章が書かれたメモが...

2021:7./ 508p

978-4-488-17003-5

本体 ¥1,210〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



たかが会計～資本コスト、コーポレートガバナンスの新常識～

福井 義高 著

中央経済社

CG コードには書いていない世界標準のガバナンス論。資本コストとコーポレートガバナンスという実務と研究両方の世界で注目されているテーマを通じて、「たかが会計」の重要性を明らかにする。

2021:5./ 3p,8p,193p

978-4-502-38581-0

本体 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



中国のCASE革命～2035年のモビリティ未来図～

湯 進 著

日本経済新聞出版社

2035年に近代化国家の形成をめざす中国。CASEについて深掘りするとともに、コロナの影響も加味した現場ベースの観察と、諸現象の定量・定性面での分析を行い、中国のモビリティ社会の未来を展望する。

2021:6./ 255p

978-4-532-32404-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



海獣学者、クジラを解剖する。～海の哺乳類の死体が教えてくれること～

田島 木綿子 著

山と溪谷社

「田島さん、クジラが打ち上がったよ!」電話 1 本で海岸へ出動、クジラを載せた車がパンク、帰りの温泉施設で異臭騒ぎ...。日本一クジラを解剖してきた研究者が、七転八倒の毎日とともに海の哺乳類の生態を紹介する。

2021:7./ 335p

978-4-635-06295-4

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



ホワイト・フラジリティ～私たちはなぜレイシズムに向き合えないのか?～

ロビン・ディアンジェロ 著

明石書店

優越感と権利意識から生じる「白人の心の脆さ(ホワイト・フラジリティ)」という現象を説明し、白人はなぜ人種問題に向き合えないのかを問い、白人による黒人差別の構造を解明する。

2021:6./ 253p

978-4-7503-5206-0

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



江戸のスポーツ歴史事典

谷釜 尋徳 著

柏書房

日本のスポーツ発展の礎を築いたのは、江戸の庶民だった! 世界史上稀に見る平和な時空間で高度に発達した日本のスポーツ文化。走り、投げ、力と技と知恵を競い合い...。江戸時代のスポーツ事情を豊富な図版と共に解き明かす。

2020:10./ 330p

978-4-7601-5284-1

本体 ¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



ボールと日本人～する、みる、つくる ボールゲーム大国ニッポン～

谷釜 尋徳 著

晃洋書房

日本人のボールゲームとの出会いは、古代にまでさかのぼる。する・みるボールゲームの歴史や、「昔の人はどう動いたのか?」といった運動技術、ボール職人の存在など、ボールゲームに魅せられ続けた日本人の歴史をひも解く。

2021:8./ 9p,219p,3p

978-4-7710-3512-6

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



心理的安全性のつくりかた～「心理的安全性」が困難を乗り越えるチームに変える～

石井 遼介 著

日本能率協会マネジメントセンター

「健全な衝突」がチームの力を引き上げる! いま組織・チームにおいて注目されている「心理的安全性」とは何かから、職場・チームで高めるアプローチ方法までを解説する。心理的安全性を計測できる特典付き。

2020:9./ 330p

978-4-8207-2824-5

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



ライズ・オブ・e スポーツ～ゲーマーの情熱から生まれた巨大ビジネス～

ローランド・リー 著

白揚社

1970 年代初頭、スタンフォード大学の学生が開催した内輪のゲーム大会という形で産声をあげた e スポーツ。プロゲーマーの誕生、世界大会の開催…。e スポーツ界の成長と歴史を、スター選手たちの名勝負とともにひもとく。

2021:7./ 346p

978-4-8269-0228-1

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



恐れのない組織～「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす～

エイミー・C・エドモンドソン／村瀬 俊朗 著

英治出版

本質的に異なるメンバーが集まるグループにとって欠かせない「心理的安全性」。このコンセプトの生みの親であるハーバード大教授が、対人関係の不安がいかに組織を蝕むか、そして、それを乗り越えた組織のあり方を描く。

2021:2./ 317p

978-4-86276-288-7

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28



みんなの金融～良い人生と善い社会のための金融論～

駒村 康平 著

新泉社

「資産形成と資産活用」「社会の持続可能な発展に貢献する金融」「フィンテックが変える未来の金融」など、良い人生を送り、善い社会を残すためのお金の知識を紹介する。三菱 UFJ 信託銀行の寄附講座をもとに書籍化。

2021:5./ 436p

978-4-7877-2107-5

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/08/28、読売新聞 2021/08/29



インタビュー・ウィズ・ザ・プリズナー(ハヤカワ・ミステリワールド)

皆川 博子 著

早川書房

18 世紀、独立戦争中のアメリカ。コロニストとモホークの息子を殺害した囚人エドは、追及される立場から一転、驚くべき推理を始め…。エドワード・ターナー三部作完結。『ミステリマガジン』連載を加筆訂正し単行本化。

2021:6./ 396p

978-4-15-210031-3

本体 ¥2,310〔税込〕



毎日新聞 2021/08/01



南島に輝く女王三輪ヒデ～国のない女の一代記～

倉沢 愛子 著

岩波書店

元松前藩士の娘として明治に函館で生まれ、帝政ロシアの貴族と結婚し、オランダ領東インドで農園を切り開いた日本女性がいた。当時の新聞に「南東に輝く女王」と称された三輪ヒデの華麗なる足跡をたどる。

2021:5./ 14p,234p,3p

978-4-00-024183-0

本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



ゲド戦記<1> 影との戦い(岩波少年文庫 588)

アーシュラ・K.ル=グウィン 著

岩波書店

少年ゲドは、自分に並はずれた力がそなわっているのを知り、真の魔法を学ぶためロークの学院に入る。進歩が早く、得意になったゲドは、禁じられた魔法で自らの「影」を呼び出し…。アースシー世界の光と闇を描く壮大な物語。

2009:1./ 318p

978-4-00-114588-5

本体 ¥792〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う

山船 晃太郎 著

新潮社

イタリアのドブ川で超レア古代船を掘り出し、ギリシャの離島で水深 60m の沈没船の記録作業をし、コスタリカでは地元で「海賊船」と噂される船の正体を推理…。水中考古学者が、発掘現場のリアルを紹介する。

2021:7./ 220p

978-4-10-354191-2

本体 ¥1,595〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



昭和 23 年冬の暗号(中公文庫 い 108-7)

猪瀬 直樹 著

中央公論新社

昭和 23 年 12 月 23 日、東條英機をはじめ A 級戦犯が処刑された。なぜ皇太子明仁の誕生日が選ばれたのか。アメリカが仕掛けた「暗号」から敗戦国日本の真実を解明する。「昭和 16 年夏の敗戦」完結篇。書き下ろし論考も収録。

2021:6./ 296p

978-4-12-207074-5

本体 ¥814〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



シェイクスピア全集<33> 終わりよければすべてよし(ちくま文庫 し 10-33)

シェイクスピア 著

筑摩書房

前伯爵の主治医の遺児ヘレンは、フランス王の難病を治して夫を選ぶ権利を手にし、憧れの現伯爵バートラムと結婚する。が、彼は彼女を嫌って逃亡、他の娘を口説く始末。そこでヘレンがとった行動は-。戯曲作品。

2021:5./ 231p

978-4-480-04533-1

本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



ドレフス事件～真実と伝説～(叢書・ユニベルシタス 1129)

アラン・パジェス 著

法政大学出版局

ユダヤ人士官がフランス軍の機密情報をドイツに渡したとする「ドレフス事件」。冤罪が作り出され、人種差別が蔓延ったとき、ジャーナリズム、知識人、政治家は何をしていたのか。多角的に検証し、我々の問題として省察する。

2021:6./ 8p,251p,23p

978-4-588-01129-0

本体 ¥3,740〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



都市に聴け～アーバン・スタディーズから読み解く東京～

町村 敬志 著

有斐閣

誰に対しても開かれる可能性をもった都市を今、構想することへの挑戦。再開発により大きく変貌しつつある東京を、「アーバン・スタディーズ」で読み解く。人が集まり社会をつくることの意味を考える書。

2020:12./

13p,332p,12p

978-4-641-17452-8

本体 ¥3,190〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



ヘッダ・ガブラー(近代古典劇翻訳<注釈付>シリーズ 002)

ヘンリック・イブセン 著

論創社

世紀末閉塞社会の女性心理を描いた近代リアリズム演劇の白眉。「人形の家」の登場人物と互いに対応し、パロディとも言われるイブセンの傑作「ヘッダ・ガブラー」を新たに訳し、詳細な注釈を付す。

2021:4./ 211p

978-4-8460-2039-2

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



ジュゴンの帰る海～マカトとザンのものがたり～

浦島悦子 著

ハモニカブックス

かつて琉球諸島沿岸に生息し、人間にかかわりの深い生き物だったジュゴンは、いま絶滅の危機に瀕している。そんなジュゴンと少女マカトの物語を、人間の起こした戦争に翻弄される「沖縄」の歴史とともに描く。

2021:7./ 38p

978-4-907349-20-2

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07



昭和の映画絵看板～看板絵師たちのアートワーク～

トゥーヴァージンズ

かつて、映画館や劇場街、駅前広場を華やかに飾った手描きの映画絵看板がどこの都市にもあった。大阪ミナミの町を彩った絵看板 300 点以上を、映画の情報とともに収録。元看板絵師のインタビューなども掲載。

2021:6./ 350p

978-4-908406-62-1

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07、産経新聞 2021/08/22



暁の宇品～陸軍船舶司令官たちのヒロシマ～

堀川 恵子 著

講談社

人類初の原子爆弾は、なぜ「ヒロシマ」に投下されなくてはならなかったか。日本の「海の戦争」を支えた輸送基地=宇品港の 3 人の司令官と、軍都・広島が背負った「宿命」に迫り、日本軍事史上の最重要問題に光を当てる。

2021:7./ 389p

978-4-06-524634-4

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07、東京・中日新聞 2021/08/08、日本経済新聞 2021/08/14、朝日新聞 2021/08/28



立原道造風景の建築

岡本紀子 著

大阪大学出版会

風を愛した夭折の詩人建築家・立原道造。初期の創作から、大学以降の詩作と設計活動にいたるまで、その芸術的感性と生の刹那的な共振を、緻密な考証と大胆な仮説によって鮮やかに描く。

2021:4./ 311p

978-4-87259-726-4

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07、読売新聞 2021/08/15



禅と浪漫の哲学者・前田利鎌〜大正時代にみる愛と宗教〜

安住 恭子 著

白水社

夏目漱石の「最後の弟子」が愛したのは、平塚らいてうの姉だった。明治・大正・昭和を駆け抜け、わずか 32 歳で夭逝した宗教哲学の異才・前田利鎌。自由を欣求した彼の遺稿をもとに、近代日本の思潮をさぐる評伝。

2021:6./ 224p,5p

978-4-560-09843-1

本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2021/08/07、日本経済新聞 2021/08/14



日本の弓術(岩波文庫 青 661-1)

オイゲン・ヘリゲル、柴田 治三郎 著

岩波書店

的にあててことを考えるな、ただ弓を引き矢が離れるのを待って射あててなのだ、という阿波師範の言葉に当惑しながら著者は六年の歳月を過ごし、その体験をふまえて講演を行なった。ここには西欧の徹底した合理的・論理的な精神がいかにより日本の非合理的・直観的な思考に接近し遂に弓術を会得するに至ったかが冷静に分析されている。

1982:10./ 122p

978-4-00-336611-0

本体 ¥572〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



世界は広島をどう理解しているか〜原爆七五年の五五か国・地域の報道〜 (広島市立大学国際学部叢書 12 巻)

井上 泰浩 著

中央公論新社

何百万もの人命を救った救世主なのか、無差別に市民を殺戮した戦争犯罪なのか。今なお認識・評価が対立する広島への原爆攻撃を世界のメディアはどう伝えているのか。55 か国・地域、194 新聞の報道を精緻に分析する。

2021:7./ 339p

978-4-12-005452-5

本体 ¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



枝の家

黒井 千次 著

文藝春秋

老夫婦が暮らす郊外の平凡な家にふと現れる、怪しき影…。「古い」や「記憶」をテーマに、日常に潜む怪異を熟練の技で描いた小説集。表題作はじめ「同行者」「空の風」など全 8 編を収録。『文藝界』ほか掲載を書籍化。

2021:6./ 201p

978-4-16-391389-6

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



限界から始まる〜往復書簡〜

上野 千鶴子／鈴木 涼美 著

幻冬舎

女の新しい道を作った稀代のフェミニスト・上野千鶴子と、その道で女の自由を満喫した気鋭の作家・鈴木涼美。限界まできた男と女の構造を、率直に、真摯に、大胆に、解体する。『小説幻冬』連載を加筆・修正。

2021:7./ 338p

978-4-344-03815-8

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



日本だんじり文化論～摂河泉・瀬戸内の祭で育まれた神賑の民俗誌～

森田 玲 著
創元社

数ある神賑行事の祭具の中でも独特の熱気を帯びる地車(だんじり)。岸和田や大阪(摂河泉)から瀬戸内と広く西日本に展開する地車文化を、歴史史料・形態・彫刻・囃子などから多角的に描き出す。

2021:6./ 222p
978-4-422-23043-6
本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



日本政治コロナ敗戦の研究

御厨 貴／芹川 洋一 著
日本経済新聞出版社

新型コロナウイルスの感染拡大を目の当たりにしながら、ただ呆然と立ち尽くす、この国の政治。なぜ、これほど失態を重ねてしまうのか。同窓の研究者と記者が、歴史的視点も交え、危機に瀕した日本政治を本音で語り尽くす。

2021:5./ 254p
978-4-532-17701-0
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



<反延命>主義の時代～安楽死・透析中止・トリアージ～

小松美彦／市野川容孝／堀江宗正 著
現代書館

今日、救命と延命という医学・医療の大原則とは対極の“医療行為”が頻出している。<反延命>主義、すなわち人生の最終段階において無益な延命治療をおこなうべきではないとするような風潮を、批判的に解明する。

2021:7./ 302p
978-4-7684-3588-5
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



ルイ・リエル～カナダ白人社会に挑んだ先住民の物語～

チェスター・ブラウン 著
彩流社

彼は英雄か、あるいは反逆者なのか。19 世紀カナダ、非道な白人支配に挑んだ先住民ルイ・リエル。その生涯とカナダ先住民による権利と生存をめぐる闘いを、個性あふれるミニマルな表現方法で描いたグラフィック・ノベル。

2021:7./ 272p
978-4-7791-2706-9
本体 ¥4,730〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



証言 我ラ斯克戦ヘリ～兵士たちの戦争秘史～

平塚 紘 編
太平洋戦争研究会 著
ビジネス社

1970 年代、当時 50 歳前後の男の大半は、その青春時代を兵士として戦場で過ごしていた。太平洋戦争研究会が直接インタビューした、200 人の戦場体験者の証言録。『週刊アサヒ芸能』連載を書籍化。

2021:7./ 421p
978-4-8284-2303-6
本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



情報を正しく選択するための認知バイアス事典～世界と自分の見え方を変える「60の心のクセ」のトリセツ～

情報文化研究所 著
フォレスト出版

「認知バイアス」とは、偏見や先入観、固執断定や歪んだデータ、一方的な思い込みや誤解などを幅広く指す言葉。循環論法、吊り橋効果、ダニング=クルーガー効果など、60の用語解説、事例、対処法、使い方を収録。

2021:4./ 262p
978-4-86680-123-0
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



雨を、読む。

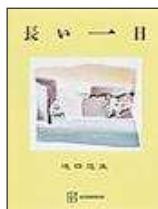
佐々木 まなび 著
芸術新聞社

美意識の雨、神様にたとえられた雨、涙雨、利休鼠の雨、雨に縁ある妖怪と鬼、月をまたぐ雨、雨のつく四字熟語…。雨にまつわる美しい言葉たちや文章をまとめる。

2021:4./ 189p
978-4-87586-610-7
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14



長い一日

滝口 悠生 著
講談社

小説家の夫と妻をめぐる、長いつきあいの友人たちやまわりの人々、日々の暮らしの中でふと抱く静かで深い感情、失って気づく愛着、交錯する記憶…。かけがえのない時間を描いた長編小説。『本』連載を書籍化。

2021:6./ 348p
978-4-06-523614-7
本体 ¥2,475〔税込〕



毎日新聞 2021/08/14、日本経済新聞 2021/08/21



近代「国文学」の肖像<第4巻> 窪田空穂

田渕 句美子 著
岩波書店

三大歌集から散文、近世和歌、芭蕉の俳句に至るまで、膨大な古典作品の注釈を積み重ねた窪田空穂。「評釈」という独自の方法から、近代的注釈のあり方を模索し続けた生涯と学問的業績を、時代のなかに描き出す。

2021:6./ 6p, 159p
978-4-00-026979-7
本体 ¥3,630〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



つちふる～句集～

岸本 葉子 著
KADOKAWA

春暁や蛇口の奥に満つる水 人日のひなたに枕はたきをり 土器片に魚の文様星月夜 息白し癌病棟の中廊下 エッセイスト岸本葉子の第1句集。2020年までに作った349句を収める。

2021:6./ 197p
978-4-04-884434-5
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



ファーブル昆虫記～完訳～<第1巻上>

ジャン=アンリ・ファーブル 著
集英社

虫の生態から、南フランスの美しい風景、19世紀フランスの歴史と社会、思想と自伝風の思い出。楽しく懐かしく読める「昆虫記」。スカラベ・サクレ(糞虫)やコブシツチスガリ、キバネアナバチなどの生態を記述する。

2005:11./ 367p
978-4-08-131001-2
本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



ファール伝

ジョルジュ=ヴィクトール・ルグロ／奥本 大三郎 著
集英社

「昆虫記」の著者にして博物学の巨人ジャン=アンリ・ファール。晩年の彼を支え、その功績を世に広めた最大の理解者・ルグロ博士が、ファールの孤高の生涯を詳細にたどる。

2021:5./ 476p
978-4-08-773513-0
本体 ¥4,620〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



日本短編漫画傑作集～少年青年漫画編～<vol.1>

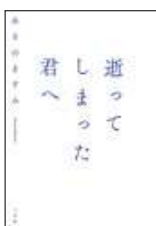
小学館

日本の漫画を俯瞰するために編まれた傑作短編アンソロジー。vol.1 は、手塚治虫「落盤」、石ノ森章太郎「奇人クラブ」、つげ義春「海辺の叙景」など、1959 年から 1967 年までの作品を収録する。

2021:7./ 343p
978-4-09-179349-2
本体 ¥1,679〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



逝ってしまった君へ

あさの ますみ 著
小学館

友人は突然、自らの意思で死を選んだ。大きな喪失感と日々の「気づき」、初めての「遺品整理ハイ」…。声優・あさのますみが、大切な人の自死と遺された人々のこれからを綴る。SNS で発表された随想録を書籍化。

2021:7./ 189p
978-4-09-388817-2
本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



<普遍性>をつくる哲学～「幸福」と「自由」をいかに守るか～(NHK ブックス 1269)

岩内 章太郎 著
NHK出版

哲学的対立を乗り越える原理を現象学の思考に見出す。個々人のささやかな幸福の追求と、それを支える「自由」。この両方を守るために、哲学史をあざやかに整理して新たな時代の展望を切りひらく。

2021:6./ 313p
978-4-14-091269-0
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



最終飛行

佐藤 賢一 著
文藝春秋

「星の王子さま」の作者、サン=テグジュペリは作家であり、飛行士だった。ナチス占領下、武器を積まず、自分が傷つけられる危険だけを背負いながら飛ぶ偵察飛行を繰り返すが。『オール讀物』連載に加筆修正。

2021:5./ 524p
978-4-16-391372-8
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



向田邦子の本棚

向田 邦子 著
河出書房新社

向田邦子の膨大な蔵書から、脚本やエッセイ・小説の糧となった本、食いしん坊に贈る本などの愛読書を紹介する。本をめぐるエッセイ、単行本未収録エッセイ・対談も掲載。

2019:11./ 163p
978-4-309-02834-7
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



国立競技場 Construction～Japan National Stadium～

河出書房新社

オリンピック・パラリンピックに向けて建設された国立競技場。その着工から完成までの1137日間を捉えた記録写真集。対面する河出書房新社の屋上から24時間定点撮影した写真などを収録する。建築家・隈研吾の序文も掲載。

2021:7./95p

978-4-309-25670-2

本体 ¥3,135〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



青春ドラマ夢伝説～「俺たちシリーズ」などと TV ドラマの黄金時代～(ちくま文庫 お73-3)

岡田 晋吉 著

筑摩書房

「青春とはなんだ」「太陽にほえろ!」「俺たちの旅」…。テレビ史に燦然と輝く名作ドラマを数多く手掛けた敏腕 TV プロデューサーが、制作秘話と仕事術を語る。時代を象徴する俳優たちの撮影風景を収めた写真も多数収録。

2021:7./305p

978-4-480-43750-1

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



バブルの経済理論～低金利、長期停滞、金融劣化～

櫻川 昌哉 著

日本経済新聞出版社

利子率が成長率を下回るとき、バブルは必然化する。理論経済学者が世界のバブルを分析し、「バブル経済」の本質を歴史と理論から解明。バブルを介して、低金利に直面する現代のマクロ経済を捉え直す。

2021:5./497p

978-4-532-35886-0

本体 ¥4,950〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



学校が大好きアクバルくん～ともだちみつけた!～

長倉洋海 著

アリス館

アフガニスタンの山の中にある学校に通う1年生の男の子、アクバルくん。みんなといっしょに、国語や算数、コーランの授業を受けて…。学校が大好きなアクバルくんの一日を紹介します。

2021:7./40p

978-4-7520-0980-1

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



ジョージ・オーウェル『一九八四年』を読む～ディストピアからポスト・トゥルースまで～(水声文庫)

秦邦生 著

水声社

文学という枠を越え、政治や社会のあり方など、あらゆる領域へと越境し増殖を続ける「一九八四年」の世界。動物、ジェンダー、情動、＜ポスト真実＞といった多様な観点からの精読や関連作品の分析をする論考、コラムを収録。

2021:5./314p

978-4-8010-0574-7

本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



隈研吾はじまりの物語～ゆすはらが教えてくれたこと～

隈研吾／瀧本幹也 著

青幻舎

建築家・隈研吾の原点、高知県・梼原町。互いに影響を与え合うようになった隈と梼原の約30年に渡る歩みを、隈自身による語り、写真家・瀧本幹也が切り取った梼原の隈建築群の写真で辿る。

2021:6./64p 図版16p

978-4-86152-853-8

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



石ころ路(灯光舎本のとしび)

田畑 修一郎 著

灯光舎

昭和期に活躍した早世の作家・田畑修一郎。病と私生活の苦悩から逃れるように三宅島へ赴いた男が現地の風景や住民との交流をきっかけに、少しずつ自身を取り戻していく姿を描いた表題作など全3編を収録する。

2021:7./ 104p

978-4-909992-51-2

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/08/21



カイメン～すてきなスカスカ～(岩波科学ライブラリー 生きもの 306)

椿 玲未 著

岩波書店

脳も心臓も胃腸もない。どこを切ってもスカスカ。そんな存在感のないカイメンが、生態系を牛耳っていた!? サンゴ礁の海も、世界一透明な湖も、彼らなしには成り立たない。人間も紀元前から利用してきた、その正体に迫る。

2021:8./ 7p,128p

978-4-00-029706-6

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ドストエフスキー黒い言葉(集英社新書 1075)

亀山 郁夫 著

集英社

激動の時代を生き、コレラ蔓延なども経験した作家ドストエフスキーの言葉には、現代へのヒントが含まれているのではないかと。予言のようにも響く作家の言葉を、第一人者が解説と共に紹介する。『すばる』連載を新書化。

2021:7./ 365p

978-4-08-721175-7

本体 ¥1,122〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



トリエステの坂道(新潮文庫)

須賀 敦子 著

新潮社

あまたの詩人を輩出し、イタリア帰属の夢と引換えに凋落の道を辿った辺境都市、トリエステ。その地に吹く北風が、かつてミラノで共に生きた家族たちの賑やかな記憶を燃え立たせる。書物を愛し、語り合う楽しみを持つ世の人々に惜しまれて逝った著者が、知の光と歴史の影を愛惜に満ちた文体で綴った作品集。未完長編の魁となったエッセイ(単行本未収録)を併録する。

1998:9./ 272p

978-4-10-139221-9

本体 ¥572〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



「十五少年漂流記」への旅～幻の島を探して～(新潮文庫 し-25-42)

椎名 誠 著

新潮社

15人の子供たちが漂流した無人島チェアマン島のモデルは、本当にマゼラン海峡にあるのか? 冒険好きの作家が、南米、そしてニュージーランドへと、世界的ベストセラー小説の謎を追った大紀行。

2021:7./ 237p

978-4-10-144842-8

本体 ¥605〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



三十の反撃

ソン・ウオンピョン 著

祥伝社

大企業の非正規社員として働く平凡な女性キム・ジへは、世の中にも会社にも期待することを諦めていた。だが、一癖ある同僚ギョウクとの出会いにより社会への小さな反撃を始める。次第にジへは自分らしい生き方を模索し…。

2021:8./ 298p

978-4-396-63612-8

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



コルシア書店の仲間たち～須賀敦子コレクション～(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

ミラノの大聖堂に近いコルシア書店に集う、心やさしくも真摯な生き方にこだわる人々とのふれあいをつづる魂のエッセイ。それぞれの人の描写の上に、著者の好奇心、想像力、鋭い視覚・聴覚が息づく。92年文芸春秋刊の再刊。

2001:10./ 234p

978-4-560-07353-7

本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ヴェネツィアの宿～須賀敦子コレクション～(白水Uブックス)

須賀 敦子 著

白水社

旅人の心をなごますヴェネツィアの宿で思いめぐらすはらかな記憶。少女時代、孤独な留学時代、父の死…親族をめぐる葛藤と自身の心の軌跡を描いた自伝的エッセイ。1993年文芸春秋刊の再刊。

2001:10./ 266p

978-4-560-07354-4

本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



トリエステの坂道～須賀敦子コレクション～(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

ジェイムズ・ジョイス、ウンベルト・サバなど多くの文学者の記憶を秘めた町、トリエステ。このアドリア海沿いの辺境の町への旅立ちにはじまる思い出の記。亡き夫、なつかしき人々との交流を綴る。みすず書房 95年刊の再刊。

2001:11./ 235p

978-4-560-07355-1

本体 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ミラノ霧の風景～須賀敦子コレクション～(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

記憶の中のミラノには、今もあの霧が静かに流れている?。イタリアで暮らした遠い日々を追想し、人、町、文学とのふれあいと言葉にならぬため息をつづる追憶のエッセイ。講談社エッセイ賞、女流文学賞受賞。90年刊の再刊。

2001:12./ 222p

978-4-560-07357-5

本体 ¥957〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ペリリュー～楽園のゲルニカ～<11>(YOUNG ANIMAL COMICS)

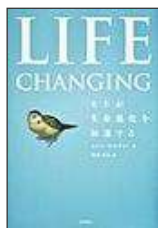
武田 一義 著
白泉社

田丸らが島を後にして 70 年——。2017 年の冬、漫画の編集者として働く後村は、ペリリュー島を訪れる。そこはかつて祖父がいた場所。後村は祖父である田丸の足跡を辿ることで、生き残った兵士がどのようにして、長い「戦後」を生きたかを知る——。語られる、帰国直後の日本の姿、亡くなった戦友の家を訪ねた時のこと、再び島を訪れた際の思いがけない再会、そして戦場で体験した出来事。伝えたかった真実、語るべきでない現実、今も鮮明に残る口にしたくない記憶。——戦争、それは自分たちと変わらない普通の人が体験した、ほんの 70 年前の出来事。今と《戦争》の時代を結ぶ真実の記録、完結。2021 年 7 月刊

2021:7./ 184p
978-4-592-16365-7
本体 ¥660〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



LIFE CHANGING～ヒトが生命進化を加速する～

Helen Pilcher 著
化学同人

家畜化、クローン作成、CRISPR 遺伝子編集から、雑種形成、同時代的進化、再野生化まで、人類が意図して、あるいは知らないうちに引き起こしてきた自然界の変化を、こぼれ話を織り交ぜて綴る。

2021:7./ 345p
978-4-7598-2073-7
本体 ¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



蹴日本紀行～47 都道府県フットボールのある風景～

宇都宮 徹壺 著
エクスナレッジ

サッカーを観に行こう。そして、日本のローカルを歩こう。複数の J クラブがある県から全国リーグを戦うクラブのない県まで、47 都道府県の「フットボールのある風景」を豊富な写真とともに活写する。

2021:8./ 255p
978-4-7678-2903-6
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ハンセン病文学全集<8> 短歌

大岡 信、大谷 藤郎、加賀 乙彦、鶴見 俊輔 著
皓星社

松葉杖つきてたたずみ居れば友は来て洗面の水を汲みてくれたり ハンセン病患者・元患者たちによる療養所短歌の集大成。1926年?2001年までの合同・個人歌集185冊から精選した、歌人1200人の短歌2万首を収録。

2006:8./ 656p
978-4-7744-0397-7
本体 ¥5,280〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



ハンセン病文学全集<10> 児童作品

大岡 信 著
皓星社

ハンセン病患者・元患者による作品の集大成。 同時代の日本の学校制度とはちがう心の交流がここに働いていた。 法律の上で、九十年間の隔離政策を廃止されたあとも、すぐさまに、社会の同年輩の文化と地続きになることはむずかしい。社会から受け入れられてゆく途上で、幾山河もこれから越えねばならず、その際に、自分自身の強い自我が、日本社会の均質的な自我に押し負けないで生きつづけてゆくことを祈る。 鶴見俊輔(解説から)

2003:6./ 460p
978-4-7744-0399-1
本体 ¥5,280〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



訴歌～あなたはきっと橋を渡って来てくれる～

阿部 正子 編

皓星社

ある日突然隔離されたハンセン病療養者たちの命の一行詩。「ハンセン病文学全集」から抜粋した短歌・俳句・川柳を、詩情や日常生活語といった約千の小見出しで分類して収録する。

2021:5./ 301p

978-4-7744-0741-8

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



明治の説得王・末松謙澄～言葉で日露戦争を勝利に導いた男～(インターナショナル新書 076)

山口 諤司 著

集英社インターナショナル

大日本帝国憲法、下関条約の締結文の草案等を書き、日露戦争では日英同盟の強化などにより日本の窮地を救った末松謙澄。彼は何を目指し、何をしたのか。世界を舞台に活躍した謙澄が日本の国際化と近代化に果たした役割を辿る。

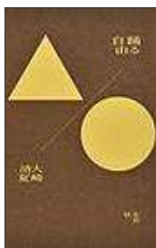
2021:6./ 253p

978-4-7976-8076-8

本体 ¥968〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28



踊る自由

大崎 清夏 著

左右社

喋っているうちに 私は どうしてもその人に触りたくなったのですが それは法律で禁じられている行為だったので かわりにその人を じっと見ました(「触って」より) 中原中也賞受賞詩人による詩集。

2021:6./ 109p

978-4-86528-030-2

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/08/28